

ふくさき町の教育

福崎町教育委員会 事務事業点検・評価報告書 (平成30年度事業分)

令和2年2月

福崎町教育委員会

<目 次>

I	はじめに	1
II	実施方針	2
III	事務事業点検・評価表	3

学校教育課

(1)	就学前の子育て支援事業	4～21
(2)	教育委員会事業	22～24
(3)	学校関係事業	25～37
(4)	給食センター事業	74～77

社会教育課

(5)	社会教育事業	38～43、55～58
(6)	芸術・文化事業	43～47、50～53
(7)	図書館事業	47～49
(8)	文化財事業	58～69
(9)	社会体育事業	54、69～74、77～83
IV	学識経験者の意見	84
V	参考資料	93
	■平成30年度福崎町教育の努力目標	94
	■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱	99

I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成30年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様はこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 実 施 方 針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

1 趣 旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

2 実施方法

ア 点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。

イ 点検及び評価は、毎年度 1 回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとしします。

ウ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は 1 年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。

エ 教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。

オ 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。

カ 教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとします。

3 実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

Ⅲ 事務事業点検・評価表

3. 民 生 費

住民生活に密着したサービスを提供するために要した経費で、保健、医療、福祉と連携し、高齢者や障がい者等「住民誰もが心豊かに安心して暮らせる町づくり」に努めました。今後も少子高齢化に対応するため実情に応じた福祉サービスを行い、住民誰もがより良い日常生活を継続できるよう支援していきます。

また、平成27年度からすべての校区の幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行し、平成30年度も引き続き就学前教育・保育の充実を図りました。

防犯面では、福崎町防犯指導委員会によるパトロールやキャンペーンを実施し、住民の防犯意識の高揚を図り、安全安心に暮らせる町づくりの推進に努めました。

1 次評価:A

(2) 児童福祉費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児 童 福 祉 費	1. 児 童 福 祉 総 務 費	37,552,000 ^円	37,175,374 ^円	376,626 ^円

児童の健全な育成のため、障がいのある児童に対して年金の支給、障がいのある児童及び母子・父子家庭への就学援助、赤ちゃん誕生祝記念品として「あかちゃん日記」等の贈呈をしました。

令和2年度から令和7年度を計画期間とする「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」策定に向け、小学生以下の子どもがいる町内の全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。アンケート調査票は、「福崎町子ども・子育て会議」内での協議内容を反映させて作成しました。また保育士等の処遇改善等の制度改正に対応するため、子ども・子育て支援システムの追加設定を行いました。

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総 計	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
	◆ 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入	子育て世代と多世代間交流事業の推進
		地域ぐるみでの子育てサポートの推進	子育て相談業務の充実
総 計	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
	◆ 取 組 内 容	地域全体で支える子育ての推進	就学援助費や保育料の軽減など、経済的支援を継続

事業名／子ども子育て支援事業(学校教育課)

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総 計	Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育啓発	

◆事業内容(目的・必要性)

令和2年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」策定に向けて、町内在住の小学生以下の子どもがいる全家庭を対象に、保育・子育て支援に関するアンケート調査を実施しました。アンケート調査票の内容に関しては、「福崎町子ども・子育て会議」を年2回開催し、協議を行いました。また、保育士等の処遇改善等の制度改正に対応するため、子ども・子育て支援システムの追加設定を行いました。

◆事業の成果

小学生以下の子どもがいる町内の全世帯を対象に保育・子育て支援事業に関するアンケート調査を実施

し、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」策定に向け、保育・子育て事業の需要量推計の基となるデータを収集しました。また、子ども・子育て支援システムの追加設定を行い、保育士等の処遇改善等に対応しました。

■福崎町子ども・子育て会議

- 委員構成 15名
 - ・子どもの保護者 5名
 - ・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 5名
 - ・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 5名
- 会議開催 2回（平成30年10月30日・平成31年2月22日）

■子ども・子育て支援システム改修

- 業務の内容
 - 子ども・子育て支援新制度システム保守業務委託 1,547,424円
 - 子ども・子育て支援新制度システム公定価格マスターデータ追加設定委託 162,000円
- 業務委託業者 (株)さくらケーシーエス

■調査業務

- 業務の内容
 - 福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査業務委託 861,840円
- 業務委託業者 (株)地域社会研究所

□効果・達成度

子ども・子育て支援システムの追加設定を行うことで、保育士等の処遇改善等の制度改正に対応しました。また、子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査としてアンケート調査を実施し、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」策定において必要な、保育・子育て支援に関する各事業の需要量推計の基となるデータを収集しました。

□課題・改善

「福崎町子ども・子育て支援事業計画」の進捗においては、令和元年10月から開始となる幼児教育・保育無償化や社会動向等を踏まえて、より現状に添った内容の計画を進めていく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,433,000	3,183,981				3,183,981

1 次評価:B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	3. 保 育 所 費	14,678,000 ^円	14,235,160 ^円	442,840 ^円

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童の費用について、該当する私立保育所及び公立保育所の設置者に対して支出した費用です。

事業名／町外公立保育所委託事業、町外私立保育所委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

施設の利用を委託した町外私立保育所及び町外公立保育所へ、委託料を支払いました。

◆事業の成果

■町外私立保育所

(単位：円)

	委 託 料
姫 路 保 育 園	882,450
白 鳥 保 育 園	95,020
屋 形 保 育 所	3,348,030
神 崎 保 育 園	2,021,630
寺 前 保 育 所	2,712,350
北 条 保 育 園	540,180
計	9,599,660

■町外公立保育所

(単位：円)

	委 託 料
豊 富 保 育 所	715,690
溝 口 保 育 所	377,140
甘 地 保 育 所	3,528,320
甲南希望ヶ丘保育園	14,350
計	4,635,500

□効果・達成度

町外私立保育所及び町外公立保育所委託料の支払を行い、各保育所の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立保育所等への適正な予算執行に努めていきます。

■保育所年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名		定員	利用延べ 児童数	利用状況			
				0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
姫路市	豊富保育所	120	12	0	12	0	0
	溝口保育所	90	10	0	0	4	6
	姫路保育園	120	18	0	0	6	12
	白鳥保育園	120	2	0	0	0	2
市川町	甘地保育所	90	47	7	31	9	0
	屋形保育所	45	26	0	19	7	0
神河町	神崎保育園	90	17	0	17	0	0
	寺前保育所	40	12	12	0	0	0
加西市	北条保育園	130	12	0	0	0	12
甲賀市	甲南希望ヶ丘 保育園	120	1	0	0	0	1
合計			157	19	79	26	33

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位：円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,678,000	14,235,160	5,313,457		2,328,800	6,592,903

1次評価:A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	4. 認定こども園費	536,434,000 ^円	530,693,458 ^円	5,740,542 ^円

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。

主な支出は、職員20名、嘱託・臨時職員21名に係る人件費、アルバイト保育教諭賃金、私立認定こども園

及び町外公立認定こども園への施設型給付費、事務費等です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	①保育事業の充実
◆ 取 組 内 容	延長保育事業や一時預かり事業 必要な保育士数の確保	食育の推進
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	②就学前教育の充実
◆ 取 組 内 容	質の高い保育事業展開のための研修参加 幼稚園年齢の見直し（3歳以上へH27年度達成） 学校教育への円滑な接続	保育・就学前教育の充実 食育の推進
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆ 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入 地域ぐるみでの子育てサポートの推進	子育て世代と多世代間交流事業の推進 就学援助費、保育料の軽減等、経済的支援を継続
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
◆ 取 組 内 容	地域全体で支える子育ての推進	
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
◆ 取 組 内 容	サポートファイルの活用、適切な支援継続	

事業名／認定こども園管理費

◆事業内容(目的・必要性)

入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。
教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会への参加や、職員の計画により研修会を実施しました。

また、施設・設備等の修繕、清掃及び害虫駆除を行い、施設の維持管理に努めました。入園者の増加への対応と児童の安全対策を図るため、田原幼児園及び福崎幼児園施設等の改修を行いました。

◆事業の成果

町内公立認定こども園研修会等において、経験豊かな講師による保育実践を中心とした指導研修を実施しました。

また、施設等の不具合部分について修繕及び改修工事等を行いました。

■研修会実施内容

	実施日	内 容
認定こども園 研修会	7月21日	保育支援研修（八千種幼児園での支援方法の講演）
	10月13日	保育環境研修（高岡幼児園での支援方法の講演）
	10月20日	公開保育研修（田原幼児園での指導・助言）
	11月10日	公開保育研修（田原幼児園での指導・助言）

■園医等報酬

・内科医 847,920円 ・歯科医 659,150円 ・薬剤師 168,000円

■修繕関係

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	517,428
八 千 種 幼 児 園	107,460
福 崎 幼 児 園	560,638
高 岡 幼 児 園	379,662
合 計	1,565,188

■工事関係

- ・田原幼稚園施設改修工事
請負金額：2,052,000円
請負業者：牛尾建設(株)
- ・田原幼稚園園児用トイレ湯沸器設置工事
請負金額：448,200円
請負業者：高岡電工(株)
- ・田原幼稚園ホール及び廊下ブラインド撤去工事
請負金額：450,230円
請負業者：(株)モリ
- ・福崎幼稚園駐車場整備工事
請負金額：5,069,520円
請負業者：(有)上月電設
- ・福崎幼稚園1・2歳児室飛び出し防止扉設置工事
請負金額：49,896円
請負業者：(株)モリ

■委託料関係

区 分	金 額 (円)
清 掃 委 託 料	265,075
植 木 剪 定 等 委 託 料	124,363
電 気 設 備 管 理 委 託 料	741,600
警 備 委 託 料	570,240
消 防 設 備 点 検 委 託 料	81,000
電 算 機 器 保 守 委 託 料	63,934
実 施 設 計 委 託 料	1,080,000
施 設 管 理 委 託 料	325,620
合 計	3,251,832

□効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理をおこない、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

合同研修は、日頃の教育・保育を省みる機会となり教育・保育の質の向上につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
入所・入園児童数(人)	594	594	635	699	709	700

□課題・改善

低年齢児からの入園が年々増加していることから、保育教諭の確保が課題となっています。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園運営に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
73,229,000	71,776,987	207,000		25,016,581	46,553,406

事業名／認定こども園事業費

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら年齢に応じた教育・保育を実施しました。

特別保育として、午後7時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない1号認定子どもの一時預かり（幼稚園型）事業及び在宅児童の一時預かり（一般型）事業を実施しました。

また、兵庫県が実施する「ひょうご保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の第2子以降の保育料を助成しました。

◆事業の成果

保護者の多様なニーズに対応するため、延長保育事業や一時預かり事業（幼稚園型・一般型）を実施しました。

多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、保育料軽減事業補助金を交付しました。

■延長保育事業利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
573	125	259	23	824	700	2,504

■一時預かり事業（一般型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	姫 学	サルビア	合 計
0	97	119	216

■一時預かり事業（幼稚園型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
619	155	194	5	9	273	1,255

■保育材料代

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	1,523,368
八 千 種 幼 児 園	756,283
福 崎 幼 児 園	1,619,435
高 岡 幼 児 園	214,829
合 計	4,113,915

■給食費等賄費

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	8,799,536
八 千 種 幼 児 園	3,810,613
福 崎 幼 児 園	7,487,722
高 岡 幼 児 園	1,230,126
合 計	21,327,997

■備品購入状況

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	742,642
八 千 種 幼 児 園	377,684
福 崎 幼 児 園	871,003
高 岡 幼 児 園	458,000
合 計	2,449,329

■ひょうご保育料軽減事業

対象児童数 111人

保育料軽減事業補助金 5,176,500円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

多子世帯においては対象を第2子以降に拡充し、より多くの世帯の経済的負担の軽減を図ることができ、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進することができました。

□めざそう値

第5次総合計画調査事項	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
延長保育事業(延べ人数)	2,852	1,739	1,742	2,062	2,504	—
第5次総合計画調査事項	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
一時預かり事業【一般型】(延べ人数)	822	723	283	222	216	—
第5次総合計画調査事項	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
一時預かり事業【幼稚園型】(延べ人数)	—	3,658	2,225	1,699	1,255	—

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、利用者が利用しやすい環境づくりを進める必要があります。

■認定こども園年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名		定員	利用延べ児童数	利用状況			
				0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
田 原 幼 児 園		240	2,529 (55)	63 (3)	548 (10)	616 (12)	1,302 (30)
八 千 種 幼 児 園		85	918 (42)	29 (0)	223 (12)	180 (0)	486 (30)
福 崎 幼 児 園		180	1,975 (47)	37 (0)	440 (1)	446 (23)	1,052 (23)
高 岡 幼 児 園		45	251 (19)	12 (0)	72 (12)	17 (7)	150 (0)
姫 学 こ ど も 園		75	845 (108)	17 (29)	292 (28)	198 (25)	338 (26)
サルビアこども園		105	1,150 (184)	67 (0)	305 (100)	173 (24)	605 (60)
小 計		730	7,668 (455)	225 (32)	1,880 (163)	1,630 (91)	3,933 (169)
姫 路 市	萩 学 園	315	150	6	24	23	97
	姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	190	132	0	12	24	96
加 西 市	愛 の 光 こ ど も 園	115	12	0	0	12	0
	白 竜 こ ど も 園	120	12	0	12	0	0
多 可 町	あ さ か こ ど も 園	105	20	10	0	10	0
播 磨 町	キューピッドこども園	155	12	0	12	0	0
小 計			338	16	60	69	193
合 計			8,006 (455)	241 (32)	1,940 (163)	1,699 (91)	4,126 (169)

※（ ）内は他市町からの受託児で外数

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
37,467,000	36,686,668	3,847,100		14,159,855	18,679,713

事業名／園児送迎バス運行事業

◆事業内容(目的・必要性)

送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。

◆事業の成果

主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る賃金、マイクロバスの維持管理に要した費用です。

■マイクロバス利用者数 (単位：人)

田 原 幼 児 園	4
八 千 種 幼 児 園	2
福 崎 幼 児 園	6
サルビアこども園	2
合 計	14

□効果・達成度

ニーズのある家庭に対しよりきめ細やかに対応し、児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

□課題・改善

朝夕各1便ずつで運行しており、1台で町内6園全ての保護者の希望に応えていくことが難しいのが

現状です。

今後も児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,412,000	3,140,706			324,800	2,815,906

事業名／私立認定こども園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

私立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。

また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実に努めました。

◆事業の成果

■町内私立認定こども園給付費 (単位:円)

	給 付 費
姫 学 こ ど も 園	71,190,560
サルビアこども園	93,092,330
合 計	164,282,890

■町内私立認定こども園補助金 (単位:円)

	姫 学 こ ど も 園	サルビアこども園
調 理 員 補 助	3,935,494	4,435,531
パ ン 代 補 助	160,049	204,404
特別保育等補助金	3,924,180	3,991,100
特 別 保 育 料	323,700	440,200
障 害 児 保 育 補 助	0	736,000
合 計	8,343,423	9,807,235

■町外私立認定こども園給付費 (単位:円)

	給 付 費
萩 学 園	6,928,010
姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	5,148,116
愛の光こども園	503,800
白 竜 こ ど も 園	1,369,970
あさかこども園	1,959,580
キュービッドこども園	684,080
合 計	16,593,556

□効果・達成度

私立認定こども園に対して施設型給付費の支払を行い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
199,836,000	199,027,104	125,914,568		763,900	72,348,636

1次評価:B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	5. 子育て支援施設費	23,524,000 ^円	23,194,606 ^円	329,394 ^円

核家族化や少子化の進展、地域のつながりの希薄化等により、家族や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》		施 策	町の取り組み
総 計	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
	◆ 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入	子育て相談業務の充実
		子育て世代と多世代間交流事業の推進	
	Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育啓発	

□めざそう値

めざそう値・アクションプラン KPI	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
子育て支援事業参加者数(人)	18,514	17,072	18,967	20,268	18,975	19,500⇒21,000

事業名／子育て支援センター運営事業（福崎幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報、ホームページ等による情報提供を実施しました。保健センターとの連絡を密に行い、産前から施設を利用してもらうよう呼びかけを行いました。また“おひさまらんど”は、子育て親子が集える場として開放すると共に、地域支援活動として地域の公民館に出かけて“すきっぷひろば”を開設し、保護者と子どもの交流促進を図りました。

◆事業の成果

■子育て支援センター事業年間延べ利用者数

おひさまらんど 利 用 者 数	すきっぷひろば 参 加 者 数	そ の 他 の 事 業 参 加 者 数	合 計
4,383人	1,139人	832人	6,354人

■子育て相談件数 610件

■地域支援活動（すきっぷひろば）実施状況

	実施月	開催公民館等
前期	5月	西野・八千種幼稚園・辻川・高岡幼稚園
	6月	西光寺・山崎・新町・八反田・加治谷・田尻
	7月	吉田・南大貫・西治
後期	10月	高岡幼稚園・田尻・福田・西治・神谷
	11月	西野・大門・辻川・八反田・八千種幼稚園・西治
	12月	吉田・新町・南大貫

■その他の事業

実施月	事業内容
4月	公園で遊ぼう（2回）、わらべうた遊び、栄養相談
5月	たかおか・やちくさひろば、すきっぷひろば（4カ所）
6月	菅原先生と座談会、栄養相談、すきっぷひろば（7カ所）
7月	ミニコンサート、たかおかひろば すきっぷひろば（3カ所）
8月	地域の方とたなばた会、福崎幼稚園夏祭り、栄養相談
9月	おもちゃ作り（2回）、たかおか・やちくさひろば、運動会
10月	福崎幼稚園の見学会（園長先生とお話し会） すきっぷひろば（5カ所）
11月	菅原先生と座談会、やちくさひろば、横山先生わらべうた すきっぷひろば（6カ所）
12月	クリスマス会（3回）、すきっぷひろば（3カ所）
1月	伝承遊び（老人クラブ）、たかおかひろば
2月	福崎幼稚園豆まきに参加、食育のお話しと給食試食会 菅原先生と座談会
3月	おもちゃ作り（2回）、たかおか・やちくさひろば

□効果・達成度

4ヶ月健診時の紹介で来所者数が増え、栄養相談を実施し、子育て中の親子の交流が広がりました。保健センターとの連絡を密にすることで、あらゆる子育ての相談に対応できるようになりました。“すきっぷひろば”をミニデイ事業で実施したことで、地域の高齢者との世代間交流と共に、子育て世代と地域とのつながりができました。

□課題・改善

公民館の場所を来場者にわかりやすく周知する事でスムーズに参加できやすくなりました。参加人数が増え、公民館の大きさ等、事業を展開するうえで場所が限られてきており、実施する内容や人数把握など様々な配慮が必要となり、今後の検討課題とします。今後も、子育て支援施設の拠点として、さまざまな事業を進めていきます。

予算額	決算額	財 源 内 訳（単位:円）			
		国県支出金	地 方 債	その他	一般財源
2,122,000	1,992,832	952,000			1,040,832

事業名／西部子育て学習センター運営事業（文化センター内）

◆事業内容(目的・必要性)

西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て親子の集いの場として提供しました。

「子育て学習講座」では、乳幼児期の子育てについての学習・実習等を開催しました。また、各子育てグループ自らが企画・立案し実施する活動に寄り添い、ともに考え、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。その他、“あそびのひろば”として絵本の読み聞かせやリズム遊びなど、様々な交流の場を提供しました。

◆事業の成果

■西部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

ともだちひろば 利 用 者 数	子育てグループ 活動参加者数	子育て学習講座 参 加 者 数	そ の 他 の 事 業 参 加 者 数	合 計
4,770人	1,856人	397人	682人	7,705人

■子育て相談件数 37件

■子育てグループ

- ・ 3 グループ63組132人の親子が参加
- ・ グループごとに年間16回活動を実施
- ・ 全体行事として、はじめましての会、ふれあい運動会、クリスマス会、おわかれ遠足等を実施

■子育て学習講座

実施月	テーマ
5 月	続・外遊びのススメ
7 月	こころに届くことば・絵本
8 月	人形劇
11月	わくわく親子うんどうあそび
12月	パズル作り
2 月	音楽付き絵本の読み聞かせとミニコンサート

■あそびのひろば

事 業 名	内 容	実 施 日
ドレミ	リズムあそび・うたあそびなど	第2木曜日 年10回
ぐりとぐら	絵本の読み聞かせ、わらべうたなど	第1木曜日 年10回
おしゃべりタイム	机を囲み子育てについて話し合う	10月・1月

□効果・達成度

63組の子育て親子が年間16回の活動に参加され、子育て中の親子の出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も子育て中の親子の安心して過ごすことが出来る身近な施設として事業を実施し、学びの場・安らぎの場・心のよりどころとなるよう、また町内子育て支援施設との連携強化に努め、子育て支援・応援のできるスタッフの育成に取り組めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,841,000	2,767,601	1,320,000			1,447,601

事業名／東部子育て学習センター運営事業（田原幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て親子の集いの場として提供し、子育て講演会の開催や親子遊び、製作遊びなどの事業を定期的に実施しました。母子参加の事業だけでなく、多世代交流、家族参加の事業など、父親や祖父母が参加する機会を多く設けました。

◆事業の成果

■東部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

にこにこひろば 利 用 者 数	製 作 あ そ び 参 加 者 数	そ の 他 の 事 業 参 加 者 数	合 計
3,661人	517人	738人	4,916人

■子育て相談件数 104件

■製作あそび

実施月	テ ー マ
毎月1回	にこにこひろばで作ってあそぼう
6月	手作り教室（おもちゃ作り）
3月	手作り教室（子育てグッズ作り）

■その他の事業

実施月	テ ー マ
4月	親子で楽しむミュージカル（家族対象）
5月・9月	子育て講演会
6月	親子体育あそび（父親対象）
7月	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう（祖父母対象）
8月	家族で楽しむ川遊び（家族対象）
10月	いもほり、幼稚園見学会
12月	クリスマス会
1月	成長の記録のノート作り
2月	身体をいっぱい使って遊ぼう

□効果・達成度

各月の実施事業に多数の親子の参加があり、子育てについての知識や情報を提供できました。家族参加の事業を通して、母親だけでなく、父親や祖父母についても多くの参加がありました。昨年度から始めた製作遊びも定着し、毎月一定数の参加がありました。

□課題・改善

今後も「学びの場」、「安らぎの場」、「子育て中の親子の心のよりどころ」として、身近な施設となるよう努力します。また、家族とのふれあいを大切し、父親の積極的な子育て参加を促していきます。そして「子どもの育ち」を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,140,000	2,027,701	968,000			1,059,701

1次評価:A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	6.学童保育費	16,740,000 ^円	16,322,840 ^円	417,160 ^円

共働き家庭や母子・父子家庭など、学校から帰宅してもだれもいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、学校や地域の協力のもと、福崎小学校の余裕教室を利用した「福崎西部学童保育園」と田原小学校体育館北の「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。

また、平成28年度から開園時間を午後7時までに1時間延長し、保育内容を充実させています。

放課後子ども教室では、地域の大人や異年齢の子どもとの交流、また昔あそびを行うなど、子どもの居場所づくりに努めました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援(2 効率的で効果的な行政運営)	①子どもの健やかな成長支援(②行政サービスの向上)
◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の導入	放課後子ども教室の充実
◆ 取組内容	学童保育の利用学年の拡充(小3→小6までへH27年度～)	
◆ 取組内容	学童保育利用時間延長(H28年度から午後7時までに、1時間延長)	

□めざそう値

(単位：人)

総合戦略アクションプランK P I	H26	H27	H28	H29	H30	目標(R1)
学童保育利用者数	183	216	235	286	327	250

事業名／福崎西部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の余裕教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。

土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。

利用人数の増加に伴い荷物用棚を追加し、特に利用人数が多い夏期休業期間には福崎地区県民交流広場を借用し、より多くの留守家庭児童の保護・健全育成に努めました。

指導員においては、実務研修や放課後児童支援員認定資格研修等への参加により資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎西部学童保育園の運営（月曜日から金曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。

■学童保育園利用状況（実利用人数） ※（ ）内は内数（単位：人）

	福崎小学校	高岡小学校	計
4月	101	12	113
5月	81	11	92
6月	79	11	90
7月 (夏休み)	129 (22)	13 (2)	142 (24)
8月 (夏休み)	125 (26)	11 (2)	136 (28)
9月	85	6	91
10月	78	8	86
11月	76	8	84
12月	84	9	93
1月	72	8	80
2月	67	8	75
3月 (春休み)	77 (8)	9 (1)	86 (9)
計 (長期休業)	1,054 (56)	114 (5)	1,168 (61)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

開園時間の延長等に伴い利用人数が増加しているため、新たな実施場所の確保について検討が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,130,000	7,036,714	1,709,000		4,686,000	641,714

事業名／福崎東部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校北の福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。土曜日はセンター方式により町内4小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。

男子トイレの改修工事により便器を増設し、環境改善に努めました。

指導員においては、実務研修や放課後児童支援員認定資格研修等への参加により資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。

■学童保育園利用状況（実利用人数）

※（ ）内は内数（単位：人）

	田原小学校	八千種小学校	計
4月	119	7	126
5月	99	4	103
6月	96	5	101
7月 (夏休み)	130 (20)	14 (8)	144 (28)
8月 (夏休み)	119 (26)	14 (8)	133 (34)
9月	90	6	96
10月	82	6	88
11月	84	6	90
12月	86	8	94
1月	76	6	82
2月	70	6	76
3月 (春休み)	76 (4)	8 (2)	84 (6)
計 (長期休業)	1,127 (50)	90 (18)	1,217 (68)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

開園時間の延長に伴い利用人数が増加しているため、新たな実施場所の確保について検討が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,149,000	8,867,342	2,803,000		5,013,000	1,051,342

事業名／田原放課後子ども教室事業**◆事業内容(目的・必要性)**

田原小学校の1年生を対象に、田原小学校の教室において5月～3月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動을しながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

	1 年生
4 月	—
5 月	33
6 月	33
7 月	32
8 月	—
9 月	—
10月	30
11月	29
12月	30
1 月	28
2 月	28
3 月	25
計	268

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約1時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
278,000	249,518	114,000			135,518

事業名／八千種放課後子ども教室事業**◆事業内容(目的・必要性)**

八千種小学校の１年生を対象に、八千種県民交流広場において５月～３月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動을しながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることで、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

	１年生
４月	—
５月	19
６月	19
７月	19
８月	—
９月	19
10月	19
11月	20
12月	20
１月	20
２月	20
３月	18
計	193

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約１時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
183,000	169,266	78,000			91,266

9. 教 育 費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「大地に根を張り、幹を太らせ、枝を広げ、葉を茂らせ、大きく伸びゆく福崎の教育」を基調に、町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして、知育・徳育・体育・食育の4育を基盤とし、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルール^{かんよう}の大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養、ふるさとや伝統文化を大切に思う気持ちを育むこと等、「心の教育」の充実に努めました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	道徳教育の充実、ふるさと学習の継続	
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	文化資源の学校教育への利活用(ふるさと意識-豊かな人間性)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総 ◆ 取 組 内 容	人権教育を推進、人権意識の高揚	地域交流や郷土愛育成
総 ◆ 取 組 内 容	地域の教育力の活用	
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総 ◆ 取 組 内 容	サポートファイルの活用、適切な支援継続	

1 次評価:A

(1) 教育総務費

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
1. 教 育 総 務 費	1. 教育委員会費	1,656,000 ^円	1,290,735 ^円	365,265 ^円

地方教育行政全般の運営推進に要した経費です。教育委員会の会議は、定例会11回、臨時会1回を開催し、教育上の諸問題について審議しました。また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により平成27年度から設けられた総合教育会議においては、首長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進していくため、平成30年度は2回開催しました。

主な支出は、委員4人にかかる報酬、教育長交際費です。

事業名／教育委員会事業

◆事業内容(目的・必要性)

教育委員会において、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応し、きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、体制の確立に努めました。

◆事業の成果

概ね月に1回教育委員会を開催し、教育情勢をより早く察知し検討しました。

研修に積極的に参加し、情報収集に努め、教育委員としてより高度な人格形成を目指しました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□効果・達成度

さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,656,000	1,290,735				1,290,735

1 次評価:B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
1. 教 育 総 務 費	2. 事 務 局 費	86,545,000 ^円	85,678,257 ^円	866,743 ^円

教育長、職員3人・嘱託1人に係る人件費、英語指導助手の賃金、旅費及びこころを開く親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。

事業名／事務局一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総 総 総	Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
	◆ 取 組 内 容	大規模改修計画の策定、教育施設の改修	安全で安心して学べる環境づくり
		学校教育指導員などの指導体制を維持・発展	いじめなどの問題に対して適切な対応
		学力向上への取り組み	
総 ◆	Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
	◆ 取 組 内 容	障がいに対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置

◆事業内容(目的・必要性)

教育行政の円滑な運営を図りました。

◆事業の成果

不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期対応しました。

教育支援委員会を開催し、支援を要する児童生徒の実態把握及び特別支援学級の入級判定を行いました。

また、学力向上委員会を設置し、方策を検討する等、学力向上に取り組みました。

学校施設においては、平成29年度に実施しました学校施設等長寿命化計画策定に伴う調査により把握した学校施設の現況をもとに、中長期的な更新・維持管理等に係るトータルコストの縮減や財政負担の平準化を図り、効率的かつ効果的な施設整備を進めるための長寿命化計画を策定しました。

平成30年度の猛暑を受け、国にて創設されました「冷房設備対応臨時特例交付金」を活用して、小中学校の全普通教室に空調設備を導入するための設計業務を行いました。

■委託料の内訳

事 業 名	箇 所	内 容	金 額 (円)	受 託 者
学校施設等長寿命化計画策定業務委託	小学校 4校 中学校 2校	学校施設の長寿命化計画策定	4,752,000	玉野総合 コンサルタント(株) 姫路事務所
学校施設空調設備設置工事实施設計業務委託	小学校 4校 中学校 2校	普通教室(78 教室)への空調設備設置に係る実施設計	9,785,880	(株) 環境設計

□効果・達成度

不登校児童生徒に対するきめ細かな対応ができました。特別支援学級への適正な入級判定ができました。

各学校施設における老朽化及び健全度状況を反映した長寿命化計画を策定することができました。また、小中学校の全普通教室に空調設備を設置するための実施設計が作成できました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
大規模改修実施学校数	0	0	0	0	0	3

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

平成30年度は、小中学校施設の長寿命化計画を策定しました。この計画をもとに次年度以降は計画的に長寿命化改修事業を進めていきます。また、令和元年度において、小中学校への空調設備設置を行っていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
26,438,000	26,057,511			9,785,000	16,272,511

事業名／学校保健安全事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。

◆事業の成果

健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。

■教職員検診費

学校名 検診名	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円
胃部レントゲン	6	22,068	1	3,678	5	18,390	2	7,356	5	18,390	5	18,390	88,272
心 電 図	15	19,440	6	7,776	23	29,808	7	9,072	16	20,736	13	16,848	103,680
血 液	15	36,405	6	14,562	23	55,821	7	16,989	16	38,832	13	31,551	194,160
H b A 1 c	15	6,480	6	2,592	23	9,936	7	3,024	16	6,912	13	5,616	34,560
胸部撮影	15	21,060	6	8,424	22	30,888	7	9,828	16	22,464	12	16,848	109,512
眼 底	19	22,572	6	7,128	26	30,888	9	10,692	16	19,008	15	17,820	108,108
尿 検 査	15	1,620	7	756	23	2,484	7	756	16	1,728	12	1,296	8,640
診 察	15	9,720	6	3,888	23	14,904	7	4,536	16	10,368	13	8,424	51,840
聴 力	15	1,620	6	648	23	2,484	7	756	16	1,728	13	1,404	8,640
大腸がん	15	15,390	5	5,130	16	16,416	5	5,130	13	13,338	12	12,312	67,716
P S A	2	3,456	0	0	4	6,912	1	1,728	6	10,368	6	10,368	32,832
腹 囲	6	1,620	1	270	7	1,890	2	540	8	2,160	7	1,890	8,370
協会健保一般健診	4	17,046	0	0	3	11,945	2	8,195	0	0	2	9,546	46,732
追加血液検査	4	3,024	0	0	3	2,268	2	1,512	0	0	2	1,512	8,316
市川町受診分	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4,104	1	15,822	19,926
計		181,521		54,852		235,034		80,114		170,136		169,647	891,304

■児童・生徒検診費

	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		小 計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円
心臓検査	63	106,470	8	13,520	83	140,270	20	33,800	67	113,230	109	184,210	591,500
尿 検 査	421	40,921	66	6,415	481	46,753	137	13,317	233	22,648	337	32,756	162,810
胸部レントゲン	0	0	0	0	0	0	0	0					0
計	147,391		19,935		187,023		47,117		135,878		216,966		754,310

■ストレスチェック委託料 16,848円

(公立学校共済組合員136人(1人90円(税抜))、左記以外の者28人(1人120円(税抜)))

ストレスチェックは、一次予防(メンタルヘルス不調の未然防止)を主な目的とし、教職員自身のストレスへの気づきを促すことにより、職場環境の改善につなげるためのものです。平成27年12月から施行された改正労働安全衛生法に基づき、教職員の心の健康のため、平成28年度から導入しました。

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,877,000	1,875,704				1,875,704

事業名／学校関係事業

◆事業内容(目的・必要性)

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金及び生活困窮者等の就学奨励扶助に係る事業です。

◆事業の成果

■各種大会等参加費

(単位：円)

学校名	大会名	派遣費用	各学校費用合計
福崎小	第 66 回兵庫リレーカーニバル	6,080	27,840
	第 34 回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選	11,780	
	第 42 回兵庫県小学生陸上競技大会	9,980	
高岡小	第 66 回兵庫リレーカーニバル	4,130	4,130
田原小	第 66 回兵庫リレーカーニバル	16,620	54,960
	第 34 回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選	21,520	
	第 42 回兵庫県小学生陸上競技大会	16,820	
八千種小	第 66 回兵庫リレーカーニバル	4,080	9,760
	第 42 回兵庫県小学生陸上競技大会	5,680	
福崎西中	中播地区中学校総合体育大会	528,380	1,236,286
	NHK 合唱コンクール	82,876	
	兵庫県合唱コンクール	144,470	
	神崎郡中学校親善大会	37,800	
	中播地区中学校新人大会	230,520	
	神崎郡中学校連合音楽会	54,000	
	兵庫県中学校総合体育大会駅伝競走大会	63,000	
	兵庫県中学校陸上競技記録会	95,240	
福崎東中	中播地区中学校総合体育大会	677,930	1,040,800
	NHK 合唱コンクール	800	
	兵庫県中学校総合体育大会水泳競技大会	18,840	
	近畿中学校総合体育大会水泳競技大会	30,600	
	全国中学校水泳競技大会	61,430	
	全日本中学校陸上競技選手権大会	43,460	
	神崎郡中学校親善大会	75,600	
	中播地区中学校新人大会	67,340	
	神崎郡中学校連合音楽会	64,800	
計			2,373,776

□効果・達成度

児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,510,000	3,203,361				3,203,361

事業名／国際教育推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進
総 説	◆ 取 組 内 容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)
		未来の国際化を担う人材の育成
		イングリッシュフェスティバル」の開催
		国際交流に関する情報の提供

◆事業内容(目的・必要性)

外国語指導助手（ＡＬＴ）２人体制のもと、国際理解教育を展開しました。また、帰国・外国人児童に対する学習支援員による学習サポートを行いました。ＡＬＴや帰国・外国人児童支援員の賃金、旅費等に係る事業です。

◆事業の成果

ＡＬＴを２人配置し、小中学校の英語教育・国際教育をより充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。また、帰国・外国人児童支援員により帰国児童に対して学習のサポートを行いました。

□効果・達成度

生きた英語にふれることで児童及び生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。

□めざそう値

総合戦略アクションプランＫＰＩ	H26	H27	H28	H29	H30	目標 (H30)
外国語指導助手（ALT）人数	2	2	2	2	2	2

□課題・改善

ＡＬＴ等の指導能力をさらに高め、より一層国際教育の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,094,000	9,920,794				9,920,794

1 次評価:B

(2) 小学校費

項	目	予算現額	支出済額	繰越明許費	不 用 額
2. 小 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	422,812,000 ^円	137,777,541 ^円	208,500,000 ^円	76,534,459 ^円

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託4人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。

事業名／小学校管理事業・小学校校外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進
総◆取組内容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目的及び目標達成のための教育を推進しました。

◆事業の成果

目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

■学校別児童・教員数調べ

H30. 5. 1 現在 (単位:人)

学校	学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	教員	事務職・ 栄養教諭等
福 崎 小		63	86	63	80	78	53	423	27	2
高 岡 小		8	12	12	8	12	14	66	10	3
田 原 小		85	81	81	78	79	79	483	27	3
八 千 種 小		20	24	27	20	16	30	137	12	2
計		176	203	183	186	185	176	1,109	76	10
2 9 年 度		204	180	185	182	174	180	1,105	83	10

■小学校別児童数の推移

学 校 名	H20	H26	H27	H28	H29	H30
福崎小学校	379	396	418	412	415	423
高岡小学校	84	74	69	67	67	66
田原小学校	511	482	489	483	474	483
八千種小学校	199	167	159	150	149	137
小計	1,173	1,119	1,135	1,112	1,105	1,109

■校医等の報酬

内 科 医 (4 人)	2,174,670円	定期健康診断、就学前健康診断、マラソン前健康診断他
歯 科 医 (4 人)	1,420,710円	
眼 科 医 (1 人)	709,150円	
耳鼻科医 (2 人)	710,500円	
薬 剤 師 (3 人)	340,900円	教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位：円)

福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
930,514	271,600	474,778	212,652	1,889,544

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
植 木 剪 定 委 託 料		5,130	14,634	86,400	5,130	111,294
リソグラフ保守管理委託料		81,240	0	44,580	35,640	161,460
清 掃 委 託 料		0	0	120,000	120,000	240,000
警 備 委 託 料		285,120	285,120	285,120	285,120	1,140,480
電気設備管理委託料		129,600	98,400	129,600	172,800	530,400
貯 水 槽 管 理 委 託 料		54,000	72,360	93,960	73,440	293,760
給食用昇降機点検委託料		0	64,800	64,800	64,800	194,400
消防設備点検委託料		45,306	45,306	45,306	45,306	181,224
プール循環装置点検委託料		24,840	24,840	24,840	24,840	99,360
エレベーター点検委託料		570,240	0	0	0	570,240
英語活動推進事業委託料		329,000	139,500	378,800	149,700	997,000
小学校体験活動事業委託料		1,098,000	580,100	1,170,000	580,100	3,428,200
電算機器保守管理委託料		3,013	3,013	3,013	3,013	12,052
計		2,625,489	1,328,073	2,446,419	1,559,889	7,959,870

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、様々な体験活動をととして、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業（県補助金）です。平成30年度も兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。町内全小学校5年生185人が2班に分かれ、4泊5日（5/14～5/18）の日程で行い、自然観察、登山、昼食作り、コース別体験等、充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■賃借料

福崎小学校敷地借上料（638.28坪） 1,320,610円

小学校コンピュータ等借上料 24,281,172円

■備品購入関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により図書購入・理科教材備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。

(単位：円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	事務局	計
一 般 備 品		431,407	161,892	760,428	56,916	961,626	2,372,269
教 材 備 品		713,173	372,267	1,094,234	221,551	1,151,076	3,552,301
図 書 購 入 費		197,110	149,796	83,548	261,511	0	691,965
計		1,341,690	683,955	1,938,210	539,978	2,112,702	6,616,535

■負担金関係 学童農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り） 1人150円

〃 （田植え）1人150円（稲刈り）1人300円

〃 （もち麦種まき・もち麦刈取り）1人250円

学 校 名	いも植え (人)	いも掘り (人)	田植え (人)	稲刈り (人)	もち麦種まき (人)	もち麦刈取り (人)	入園料 (円)
福 崎 小	149	151	78	78	88	63	117,850
高 岡 小	40	38	26	25			23,100
田 原 小	81	80	79	79	80	80	99,700
八 千 種 小	91	91	46	46			48,000
計	361	360	229	228	168	143	288,650

□効果・達成度

各学校において、それぞれ必要な備品等を購入し、教育環境をさらに充実させることができました。

平成30年度も外国語活動事業を委託しました。自然学校では、5年生が自然の中での長期宿泊体験を通して、豊かな感性や社会性を育む活動を行いました。

□課題・改善

理科備品の充足率が不十分で、これからも継続して備品購入・整備に努める必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
93,166,000	91,150,530	2,088,000		500,000	88,562,530

事業名／小学校施設補修事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	大規模改修計画の策定、教育施設の改修	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の修繕等を行いました。

■修繕関係

(単位：円)

学校名	内 容	金額	各小学校合計
福崎小	渡り廊下鉄筋露出補修	74,520	1,637,280
	北門ブロック塀改修	237,600	
	プールろ過装置 ヘアキャッチャー修繕	30,240	
	北校舎側溝修繕	183,600	
	屋上スピーカー取替	274,320	
	南校舎 堅樋修理	91,800	
	運動場バックネットブロック塀改修	518,400	
	運動場バックネット裏散水栓設置	226,800	
高岡小	教室照明器具取替	156,600	1,599,048
	プールろ過装置 ヘアキャッチャー修繕	21,600	
	教室照明器具更新	1,220,400	
	体育倉庫雨樋改修	200,448	
田原小	アスレチック修繕	288,360	757,080
	プールろ過装置修繕	58,320	
	図工室作業台修繕	410,400	
八千種小	運動場側溝蓋設置	85,320	1,438,056
	小プール 不良バルブ交換	78,336	
	電話設備更新・電話機移設	572,400	
	運動場北側側溝擁壁補修	702,000	
合 計			5,431,514

■業務委託料 田原小学校北 学校用地植木剪定業務 297,000円

■工事請負費 高岡小学校プール改修工事 27,841,320円

高岡小学校体育館トップライト改修工事 2,311,200円

□効果・達成度

緊急を要する箇所については、修繕することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
大規模改修実施学校数	0	0	0	0	0	3

(※目標学校数は小学校・中学校あわせたもの)

□課題・改善

学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所については修繕することができましたが、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。補修の必要な箇所を

十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
318,700,000	35,881,034		27,800,000		8,081,034

事業名／遠野市友好交流事業

◆事業内容(目的・必要性)

平成 30 年度から友好都市提供の教育分野の事業として第 1 回「岩手県遠野市と福崎町の児童交流」を実施しました。

◆事業の成果

8 月 27 日から 29 日まで、福崎町内小学校 6 年生 15 人と引率者 9 人で民俗学の父・柳田國男の著書『遠野物語』の舞台となった遠野市を訪れ、遠野市の人々の知恵や工夫・努力を体感し、異なる地域の文化や暮らしぶりに触れました。児童たちは、遠野市の施設、名所を巡り、防災をはじめとする市の取組を深く理解し感動を得ました。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,970,000	1,776,167			300,000	1,476,167

1 次評価:B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2.小 学 校 費	2.教育 振 興 費	9,941,000 ^円	9,453,678 ^円	487,322 ^円

心身に障がいやを有する児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

事業名／小学校教育振興事業、小学校教育振興枠外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

福崎小 5 学級 (知的、自閉症・情緒①②、難聴、肢体)

高岡小 1 学級 (知的)

田原小 6 学級 (知的、自閉症・情緒①②、難聴、弱視、肢体)

八千種小 3 学級 (知的、自閉症・情緒、難聴)

■学校別児童数調（特別支援学級）

H30. 5. 1 現在（単位：人）

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
福 崎 小 学 校	1	10	1	5	1	1	19
高 岡 小 学 校	0	0	1	0	1	0	2
田 原 小 学 校	7	7	0	2	3	1	20
八 千 種 小 学 校	0	0	3	2	1	2	8
計	8	17	5	9	6	4	49

■備品購入費

（単位：円）

校名 \ 校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
一 般 備 品	94,122	0	212,866	152,280	459,268
教 材 備 品	239,139	84,558	284,580	136,598	744,875
計	333,261	84,558	497,446	288,878	1,204,143

■就学援助費支給状況

経済的理由等で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

扶 助 内 容	人数(人)	金 額(円)
学 用 品	91	1,095,300
修 学 旅 行	18	372,300
新 入 学 学 用 品	18	608,200
給 食 費	95	3,617,696
P T A 会 費	54	122,200
計	276	5,815,696

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
地域スクールヘルパー登録者数（人）	457	467	428	434	395	470

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,941,000	9,453,678	453,000			9,000,678

1 次評価:B

(3) 中学校費

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	繰越明許費	不 用 額
3. 中 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	197,275,000 ^円	64,925,820 ^円	91,500,000 ^円	40,849,180 ^円

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託2人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。

事業名／中学校管理事業・中学校校外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進
総 ◆ 取 組 内 容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目標及び目的達成のための教育を推進しました。

◆事業の成果

目的を達成するために合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

■学校別生徒・教職員数調

H30. 5. 1 現在 (単位：人)

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	計	教 員	事務職・用務員
福 崎 西 中 学 校	67	84	83	234	23	3
福 崎 東 中 学 校	109	114	115	338	25	2
計	176	198	198	572	48	5
平 成 2 9 年 度	199	198	175	572	47	5

■中学校別生徒数の推移

学 校 名	H20	H26	H27	H28	H29	H30
福崎西中学校	261	237	239	235	240	234
福崎東中学校	365	351	334	337	332	338
小計	626	588	573	572	572	572

■校医等の報酬

内 科 医 (2 人)	1, 068, 900円	定期健康診断、マラソン前健康診断他
歯 科 医 (2 人)	658, 880円	
眼 科 医 (1 人)	364, 300円	
耳鼻科医 (2 人)	354, 400円	
薬 剤 師 (2 人)	97, 400円	教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位：円)

福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
992, 691	542, 532	1, 535, 223

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福 崎 西 中	福 崎 東 中	計
植 木 剪 定 委 託 料		153,730	150,000	303,730
リ ソ グ ラ フ 保 守 管 理 委 託 料		89,676	85,656	175,332
「トライやる・ウィーク」推進事業委託料		600,000	600,000	1,200,000
清 掃 委 託 料		0	120,000	120,000
警 備 委 託 料		285,120	285,120	570,240
電 気 設 備 管 理 委 託 料		129,600	129,600	259,200
貯 水 槽 管 理 委 託 料		96,120	103,680	199,800
給 食 用 昇 降 機 点 検 委 託 料		32,400	32,400	64,800
消 防 設 備 点 検 委 託 料		55,512	55,512	111,024
プ ー ル 循 環 装 置 点 検 委 託 料		24,840	24,840	49,680
エ レ ベ ー タ ー 点 検 委 託 料		440,640	0	440,640
電 算 機 器 保 守 管 理 委 託 料		3,024	3,024	6,048
計		1,910,662	1,589,832	3,500,494

■借上料

中学校コンピュータ等借上料 14,719,356円

■備品購入費関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により、図書購入・理科教材等備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。

区分	校名	福崎西中学校	福崎東中学校	事 務 局	計
一 般 備 品		259,279	1,075,450	0	1,334,729
教 材 備 品		159,757	921,984	473,276	1,555,017
図 書 購 入 費		294,062	248,377	0	542,439
進路指導用教材備品購入費		0	46,090	0	46,090
計		713,098	2,291,901	473,276	3,478,275

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
52,551,000	52,006,767	2,329,000			49,677,767

事業名／中学校施設補修事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の修繕等を行いました。

■施設補修関係

(単位：円)

学校名	内 容	金額	各学校合計
福崎西中	プールろ過装置 ハーキャッチャードレン部修繕	38,880	3,339,846
	生徒玄関屋内マット敷替	132,840	
	放送設備更新	1,263,600	
	技術棟 雨漏り及び石膏ボード破損修繕	130,086	
	1階廊下外 長尺シート張替	1,744,200	
	プールろ過装置 ヘアキャッチャー修繕	30,240	
福崎東中	プールろ過装置 圧力計修繕	22,680	3,133,469
	プールろ過装置 循環ポンプ取替	291,600	
	放送設備更新	918,000	
	駐車場補修	199,800	
	プールろ過装置 穴開き箇所溶接補修	54,000	
	機械室 揚水ポンプ緊急修繕	50,700	
	機械室 揚水ポンプ分電盤 電磁開閉器取替	84,500	
	揚水ポンプ取替	556,200	
	揚水ポンプ制御盤修繕	270,000	
	校舎2階トイレ洋式化	557,280	
	階段手摺補修	128,709	
	合 計		6,473,315

■工事請負費 福崎西中学校プール防水修繕工事 1,704,240円

□効果・達成度

いずれの中学校においても学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所について、修繕することができました。しかし、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。

□課題・改善

補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
139,979,000	8,177,555				8,177,555

1次評価:A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
3. 中 学 校 費	2. 教 育 振 興 費	7,429,000 ^円	6,960,700 ^円	468,300 ^円

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

事業名／中学校教育振興事業・中学校教育振興枠外事業

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中 2学級（知的、自閉症・情緒）

東中 3学級（知的、自閉症・情緒、難聴）

■学校別生徒数調（特別支援学級）

H30. 5. 1 現在（単位：人）

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	計
福 崎 西 中 学 校	2	2	1	5
福 崎 東 中 学 校	6	2	1	9
計	8	4	2	14

■備品購入費

（単位：円）

区分 \ 校名	福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
一 般 備 品	16,740	142,770	159,510
教 材 備 品	0	42,776	42,776
計	16,740	185,546	202,286

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

扶 助 内 容	人数(人)	金 額(円)
学 用 品	52	1,197,040
修 学 旅 行	16	852,400
新 入 学 学 用 品	23	921,900
給 食 費	52	2,466,190
ク ラ ブ 活 動 費	36	323,092
生 徒 会 費	44	59,700
P T A 会 費	42	75,600
計	265	5,895,922

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な生徒の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,429,000	6,960,700	207,000			6,753,700

(4) 社会教育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	54,334,000 ^円	53,638,194 ^円	695,806 ^円

生涯学習社会の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
総 ◆ 取組内容	多彩な学習機会を提供	
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	① 生涯学習施設の整備・充実
総 ◆ 取組内容	バリアフリー化の推進	生涯学習の場を広く提供
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	② 情報提供の充実
総 ◆ 取組内容	積極的な情報の提供	
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	③ クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取組内容	仕組みづくりなどの取り組み	機会の提供、グループや人材の育成
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	① 芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取組内容	地域の文化振興	
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④ 生きがいづくりと社会参加の促進
総 ◆ 取組内容	生涯学習の場の提供	

事業名／社会教育総務一般事務費

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育振興のために、行政と地域住民をつなぐ社会教育委員の活動を支援しました。また、成人式や吉識雅夫科学賞を実施し、社会教育の推進に努めました。

◆事業の成果

■社会教育委員会の活動

・社会教育委員会

第1回 5月28日(月)

第2回 11月30日(金)

第3回 3月28日(木)

・中播磨・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会 1月16日(水)

・近畿地区社会教育研究大会(和歌山大会) 9月7日(金)

・中播磨地区社会教育連絡協議会研修会 10月30日(火)

■成人式 1月14日(月・祝) 該当者248人中165人の参加

新成人代表10人による実行委員会を組織しました。企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを、実行委員が積極的に進めてくれました。

・第1部 成人式式典

・第2部 アトラクション(ビンゴゲーム・DVD上映)

■第11回吉識雅夫科学賞

吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して、賞を贈りました。

・小学校低中学年の部

宮田 悠衣（福崎小学校 4 年生） 作品名「氷のふしぎ」

・ 小学校高学年の部

齋藤 肇（田原小学校 5 年生） 作品名「花はどのようにして染まるのか」

・ 中学校の部

大塚みつ（福崎東中学校 1 年生） 作品名「消化酵素の世界」

□効果・達成度

社会教育委員から意見を聞き、成人式や吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。平成30年度の成人式式典では、平成29年度に引き続き新成人から家族への「感謝」の手紙を、家族から新成人へ「励まし」の手紙を読み上げてもらいました。普段なかなか口にできない家族への感謝、我が子への愛情がこめられた手紙に会場全体が感動に包まれました。成人式の出席率は約67%でした。吉識雅夫科学賞は、平成30年度で11回目を迎え、地域住民へのさらなる周知を図るため、吉識雅夫先生の功績を紹介するコーナーも設け、児童・生徒の研究成果を展示発表しました。

□課題・改善

地域のニーズや課題に対応した各種事業が展開できるよう、社会教育委員の意見を求めています。ホームページ等を用いて社会教育委員会の活動を発信し、社会教育委員会の見える化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,883,000	1,564,469				1,564,469

事業名／地域ぐるみ教育支援事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の実施	

◆事業内容(目的・必要性)

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、登下校時の見守りや校内巡視、学校から依頼を受けて行った図書貸し出し等の学校支援活動です。

◆事業の成果

■学校支援活動（学校支援地域本部事業）

【ヘルパー活動】

スクールヘルパー … 午前・午後各3～5人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー … 登下校時の見守り（1自治会で2～3か所）

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校（133人）	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校（53人）	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校（124人）	毎週月・水・金曜日	週3回
八千種小学校（81人）	毎週火・木曜日	毎週水曜日

【学校支援ボランティア活動】

依頼内容	学校	支援者	実施日	活動場所
図書貸出	八千種小学校	10 人	4月23日から毎週月曜～金曜(昼)	図書室
菊作り	福崎西中学校	2 人	4月24日から数回指導	教室・校庭

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

- ・土曜英語教室 小学3・4・5・6年生対象

平成30年6月から平成31年3月までの土曜日 各校区月1回

高岡県民交流広場、福崎県民交流広場、田原県民交流広場、八千種県民交流広場

- ・サマースクール 小学4・5・6年生対象

平成30年7月30日(月)～8月3日(金)

高岡県民交流広場、八千種県民交流広場

平成30年8月6日(月)～10日(金)

福崎県民交流広場、田原県民交流広場

- ・ウィンタースクール 中学3年生対象

平成30年10月13日(土)～平成31年3月2日(土)の土曜日

文化センター、サルビア会館（会場交互で実施）

□効果・達成度

地域ボランティアの支援で、子どもたちの安全確保ができました。活動を通して子どもたちと地域ボランティアがふれあうこともできました。また、学校の休業日・土曜日に、地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また、学習申込者が継続して参加するように、内容を工夫していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,155,000	1,033,753	634,000			399,753

事業名／青少年健全育成関係事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総 計	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育啓発 積極的な非行防止・環境浄化活動	支援体制の充実(青少年やその家族などへの相談、指導)

◆事業内容(目的・必要性)

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。

◆事業の成果

■青少年問題協議会の開催（年2回）

第1回目 平成30年7月6日（金）

第2回目 平成31年2月27日（水）

■研修会・フェスティバルの開催

- ・人権・青少年健全育成研修会

(区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修)

平成30年5月19日(土) 啓発DVD視聴・青少年愛護条例の概要説明・講話 参加者:100人

・人権・青少年健全育成フェスティバル

平成30年12月8日(土) 福崎町エルデホール 参加者:355人

(内容) 体験発表 小中学生

講演 演題:「一緒に生きて行きましょう ～生きるということ～」

講師:作家・僧侶 家田 荘子

展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語

■青少年健全育成啓発リーフレットの作成(各戸、町内店舗等に配布) 6,300枚 16,276円

■青少年補導委員会活動状況

・定例会 11回

・街頭補導(下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回、イベント時巡回等)

年度	28年度	29年度	30年度
街頭補導回数	82回	82回	86回

□効果・達成度

研修会、フェスティバル等により、町民の青少年健全育成意識を高めることができました。自治会単位研修会では、学校の先生方の参加により、町民に子どもたちの学校での様子等について知っていただきました。また、啓発リーフレットの作成や啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることができました。

□課題・改善

今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施し、子どもたちの健全な成長を支援していきます。子どもの犯罪被害、ネット依存が減少するよう改正された青少年愛護条例について啓発リーフレットを用いて町民へ周知します。スマートフォン等の利用の低年齢化が進んでいます。引き続き、小学校におけるインターネット利用に関する基準づくりを支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,788,000	2,660,178				2,660,178

事業名／家庭教育学級開設事業

◆事業内容(目的・必要性)

幼児園(4園)・小学校(4校)・中学校(2校)の保護者会会員・PTA会員を対象に、各保護者会・PTA学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応するため、学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動やスポーツ大会等を1年通して実施しました。

◆事業の成果

■家庭教育学級委託料

幼児園 4園@40,000円=160,000円

小中学校 6校@80,000円=480,000円

□効果・達成度

学級開設により、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、保護者の子育てを支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
640,000	610,657				610,657

事業名／各種団体育成事業

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育関係団体を育成することを目的とし、自主的な活動を財政的な面から支援しました。主な支出は、町PTA、町文化協会への補助金です。

◆事業の成果

■負担金

・神崎郡美術協会負担金 23,000円 ・神崎郡連合PTA協議会負担金 57,000円

■補助金

・福崎町PTA協議会補助金 80,000円 ・福崎町文化協会補助金 400,000円

□効果・達成度

町内及び郡内の社会教育関係団体と連携を図り、各種事業を円滑に実施することができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、社会教育活動の活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
560,000	560,000				560,000

事業名／こころ豊かな地域づくり推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の推進(地域教育力の向上)	

◆事業内容(目的・必要性)

こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成する事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町ココロクラブ

年間9回(4月～11月・3月の毎月1回)役場及びもちむぎのやかた周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。

■みどりのグループ

年間を通じて、毎月2回、町内の5か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。

■福崎町手芸ボランティア

趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。

■国際食文化交流の会

福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる環境づくりを進めるため、2か月に1回、料理を通して国際交流を行いました。

■たんぽぽ

子どもや高齢者、障がいのある方々に、お話や簡単な手遊び等で、癒しのひとときを過ごしてもらいました。

□効果・達成度

日本語サロンでは毎月2回学習者のレベル別グループ学習で、ニーズに応えることができたほか、“住みよい町づくり”をめざして、ボランティア会員に大変熱心に取り組んでいただきました。

□めざそう値

総合戦略アクションプランK P I	H26	H27	H28	H29	H30	目標(R1)
日本語サロン平均受講者(人数)	8	14	14	27	25	30

□課題・改善

ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広げて新規会員の加入促進に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
423,000	328,135				328,135

1 次評価:C

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	2. 公 民 館 費	7,590,000 ^円	7,071,082 ^円	518,918 ^円

生涯学習の場の提供、町民が主体的に学習するための講座や教室の開講に要した経費です。

事業名／公民館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施	
IV 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいくりと社会参加の促進
総 ◆ 取 組 内 容	生涯学習の場の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、地域住民に活動の場と交流の機会を提供するため、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行いました。

◆事業の成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

登 録 会 場 名	登録クラブ数（クラブ）	登録人数（人）
文 化 セ ン タ ー 会 場	34	358
八千種研修センター会場	19	200
地 区 会 場	29	194
合 計	82	752

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会（事務局：文化センター）に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組まれ、住民の文化の高揚、研さんの場として施設を有意義に利用されました。

■文化功績賞

氏名	所属	分野	内容
宜川真子	町立田原小学校2年生	新聞感想文	「第9回ひょうご新聞感想文コンクール」神戸新聞社賞
藤本理子	町立八千種小学校2年生	交通安全ポスター	「平成30年度児童・生徒の交通安全ポスターコンクール」銀賞
宮田悠衣	町立福崎小学校4年生	読書感想文	「第64回青少年読書感想文兵庫県コンクール」兵庫県知事賞
中安優月	町立田原小学校6年生	標語	兵庫県緑化推進協会主催「緑化作品コンクール標語部門」1席
木畑奏羽	町立福崎東中学校1年生	交通安全ポスター	「平成30年度児童・生徒の交通安全ポスターコンクール」兵庫県知事賞
見藤夏星	町立福崎東中学校2年生	交通安全ポスター	「平成30年度児童・生徒の交通安全ポスターコンクール」兵庫県知事賞
桑谷茂里	町立福崎西中学校3年生	書写	「第40回兵庫県中学校総合文化祭書写部門」特選
高島里旺	町立福崎西中学校3年生	美術	「第40回兵庫県中学校総合文化祭美術部門」特選
古河なつみ	町立福崎東中学校3年生	書写	「第40回兵庫県中学校総合文化祭書写部門」特選
中村伊吹	町立福崎東中学校3年生	美術	「第40回兵庫県中学校総合文化祭美術部門」特選

□効果・達成度

町内外の行事やイベントに積極的に参加することで、各クラブの活動の幅が広がりました。

□課題・改善

公民館クラブ会員の増加、活性化に向けて若年層の利用促進を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,000,000	2,772,580				2,772,580

事業名／老人大学事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施策	町の取り組み
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいくつくりと社会参加の促進
総◆取組内容	生涯学習の場の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

高齢者がともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的として、老人大学事業を実施しました。

◆事業の成果

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず募集しました。

神崎学園（2年制）・福寿学園として2学園制で運営しました。専門講座では、年間20回、園芸（野菜・花き）・陶芸・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・史学・ITの全8コースの講座を行いました。一般教養講座については、年間10回の講演会等を開催し、10月に親睦運動会、11月に老人大学祭を実施しました。

■受講生の推移

(単位：人)

	28年度	29年度	30年度
神崎学園	92	100	101
福寿学園	204	196	199
合 計	296	296	300

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、学習の場と交流の機会を提供し、生きがいくつくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会の自主的なクラブ活動等も活発になりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
老人大学受講者数	300	293	296	296	300	360

□課題・改善

受講生のニーズを調査し、専門講座の再編等を検討します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,400,000	2,360,478			92,000	2,268,478

事業名／セミナー事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施策	町の取り組み
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいくつくりと社会参加の促進
総◆取組内容	生涯学習の場の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民が現在の生活を見つめ直して、心豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施し、有益な知識や情報を提供しました。

◆事業の成果

■サルビアセミナー

開催回数：10回（うち3回公開講座）

学習テーマ：「意外と知らない！？冠婚葬祭のマナー」「男女共同参画時代のテレビのつきあい方」
「ハーバリウム製作体験」「知っておきたい社会保障の現状と金融トラブル」「涙活」
「東京オリンピック観戦」「五感を磨いて若返り」「ピアノコンサート」等

□効果・達成度

座学だけでなく、参加体験型講座や課外学習も行い、講座の活性化を図りました。

受講生同士の交流も活発になり、新たなコミュニティ形成につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
セミナー事業受講者数	190	194	177	178	174	220

□課題・改善

受講者の増加に向け、アンケート調査等を実施し、講座内容の創意工夫に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
510,000	441,585			152,500	289,085

事業名／美術展事業

◆事業内容(目的・必要性)

優れた芸術作品に親しみ、地域住民の芸術文化への関心を高めるために、第36回福崎町美術展を開催しました。地域に根をおろした内容のある公募美術展として定着し、約600人の来場者がありました。

◆事業の成果

■第36回福崎町美術展

会期：平成30年5月18日（金）～5月20日（日）

会場：エルデホール メインホール

部門及び審査員	日 本 画	安惠隆司
	洋 画	志智 正
	書	岡本正志
	写 真	山岡成男
	彫塑・工芸	大上 巧

美術展応募数・展示数

	28 年度	29 年度	30 年度
応募数（点）	184	193	195
展示数（点）	184	130	128

□効果・達成度

町内外から質の高い作品が出展され、日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができました。

□課題・改善

作品応募数及び来場者数が増えるよう、広報活動の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
950,000	901,902				901,902

事業名／文化振興事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に、県民芸術劇場での芸術鑑賞を実施しました。

◆事業の成果

■県民芸術劇場

日時：平成30年12月9日（日）

場所：エルデホール メインホール

出演：神戸クラシック協会

内容：「世界の音楽の旅と【ヘンゼルとグレーテル】」

入場者数：212人

□効果・達成度

事業を通して、地域住民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。

□課題・改善

より多くの地域住民に関心をもってもらい、来場者が増えるように、住民ニーズを調査します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
730,000	594,537				594,537

1 次評価:A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	3. 図 書 館 費	52,840,000 ^円	50,833,155 ^円	2,006,845 ^円

平成30年度は、多様化しているレファレンスに対応すべく、国立国会図書館が提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用を開始したことでより多くの資料、情報をより速く提供することが可能になりました。

また町内各学校と連携し、図書館見学の受け入れや、学校を訪問しておはなし会を継続して開催することで、子どもが図書館のことを知るきっかけを作り、読書の習慣を身につけられる環境づくりに努めました。

事業名／図書館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の学習・調査研究を行う情報拠点として、また、各種講座やイベント、ボランティア活動等を通した学習発表の場として、安全で快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めました。

◆事業の成果

図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。

- ・男子トイレ小便器オートフラッシュ修理 (52,142円)
- ・氷蓄熱ユニット空冷チラー送風機整備 (540,000円)
- ・空調機部品取替え (56,160円)

またさるびあドームでイベント開催時の、図書館利用者の駐車場確保のため、バリカーを設置しました。

工 事 費：484,920円

請負業者：神姫道路施設株式会社

□効果・達成度

定期点検等の実施により、安全で安心な施設管理、運営ができています。

□課題・改善

開館から10年以上経過し、各設備等に傷みが出てきているため、補修を要するところを早期に発見し、修繕をすることで、施設の耐久性延伸を図る必要があります。定期的な点検、補修を継続して実施することで、安心して利用できる施設をめざします。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,731,000	10,830,617				10,830,617

事業名／図書館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 効率的で効果的な行政運営	②行政サービスの向上
行 ◆ 取 組 内 容	公共施設の相互利用促進事業	
II 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
総 ◆ 取 組 内 容	イベントの実施、蔵書構成	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行うため、資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。

また図書館の本を活用する方法を学びながら科学に親しむことができるよう、夏休みの講座を実施しました。

◆事業の成果

図書館マイスター講座等図書館を知るきっかけとなるイベントの実施により、図書館を身近に感じ、本に親しむ環境づくりをすることにより読書活動の推進に努めました。

■子ども向け行事

たなばた会

夏休み工作教室「スライム・スライム・スライム」

夏休み工作教室「ねんどとスライム スイーツパーティ」

図書館おばけやしき

図書館クリスマスマーケット

図書館であそぼ会

■大人向け行事

キャンドルナイト

絵本読み聞かせ講座（全3回）

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。（200,000円）

■貸出冊数・貸出人数

	貸出人数(人)	貸出点数(点)	年度末登録者数(人)
28年度	48,474	239,620	15,642
29年度	46,224	227,801	16,511
30年度	46,748	230,993	17,366

□効果・達成度

平成30年度も播磨圏域相互利用により、町外利用者が増えています。町外の主な登録者は姫路市、市川町、神河町在住者です。

平成30年度末の蔵書点数は、150,694点となりました。

定例行事の「えほんのじかん」「おはなし会」「おたのしみ会」等は、応援隊と協力しながら、たくさんのお子どもたちに参加してもらい、絵本や読書の楽しさを伝えることができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
図書館貸出人数	46,871	49,253	48,474	46,224	46,748	50,000
総合戦略アクションプランKPI	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H31)
図書館町外登録者数(人数)	1,319	2,172	2,929	3,486	4,011	3,600→4,200

□課題・改善

学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、本に触れる機会を増やし、子どもの読書活動を推進していきます。

今後は減少傾向にある町内在住者の利用を増やすため、大人向けの講座の開催や特集棚の活用により自分では探しにいかない本が目に入る工夫をすることで、継続した利用、また新たな利用につながる図書館づくりに努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
26,982,000	26,240,395			1,236,500	25,003,895

1次評価:B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	4. 文化センター 管 理 費	40,949,000 ^円	40,250,880 ^円	698,120 ^円

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を

果たしている文化センターの管理・運営に要した経費です。

事業名／文化センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

近隣施設との連携によって、地域住民の文化意識の向上、福祉増進及び体育振興を図るため、各種事業展開の中心的役割を果たしました。学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点として、文化センターの効率的な管理運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

平成30年度は施設の維持補修として、館内非常灯取替工事（280,800円）、子育て学習センター空調機修繕工事（712,800円）、大ホール屋根雨漏り修繕工事（309,960円）、大ホール非常灯取替工事（294,840円）、大ホール西側屋根塗装塗替工事（563,760円）、外灯修繕工事（266,760円）等を行いました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第35号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

	有料及び無料使用件数				使用料 (円)	使用者数 (人)	
	有料 (件)	無料 (件)		合計 (件)			
		町関係他	公民館				教委
28年度	338	176	1, 170	409	2, 093	939, 574	37, 475
29年度	258	170	1, 011	396	1, 835	844, 547	36, 302
30年度	255	178	1, 178	546	1, 902	830, 188	35, 768

□効果・達成度

適切な補修により、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化や社会状況から、耐震補強等の抜本的な施設補修が必要となってきました。利用者の高齢化も進み、安全面や利便性の向上を最優先に検討していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,270,000	10,751,403			830,188	9,921,215

1 次評価:B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	5. エルデホール 運 営 費	59,942,000 ^円	57,934,087 ^円	2,007,913 ^円

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。施設の運営、管理に要した経費です。

事業名／エルデホール管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。施設及び設備の利用をとおして地域住民により高い水準の文化活動を促進するため、地域住民が安心して利用できる施設となるよう施設の管理運営を行いました。

◆事業の成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

年度			メインホール	イベントホール	洋 室	スタジオ	ホワイエ	屋外舞台
28年度	開館日数 308	利用日数(日)	162	166	211	108	103	12
		稼働率(%)	52.60	53.90	68.51	35.06	33.44	3.90
29年度	開館日数 307	利用日数(日)	180	155	217	123	119	11
		稼働率(%)	58.63	50.49	70.68	40.07	38.76	3.58
30年度	開館日数 308	利用日数(日)	181	131	219	146	106	13
		稼働率(%)	58.77	42.53	71.10	47.40	34.42	4.22

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。1日に複数の利用者があっても1としています。

年度	貸館使用料収入	使用回数	利用者数
28年度	3,318,537円	840回	48,589人
29年度	3,707,823円	900回	47,927人
30年度	3,197,485円	899回	49,842人

■主な施設修繕費及び設備更新

開館から30年近くが経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。お客様に影響を及ぼす箇所を優先し平成28年度から徐々に修繕・更新をはかっています。そんな中、平成30年度は引き続き、音響設備更新（3年目）を実施したほか、高圧ケーブルの張り替え、ホワイエ照明設備の更新など、緊急性を要するものについて修繕を実施しました。また、安全で快適なホールを維持し安心して使用していただけるよう、各種保守点検を行いました。主な修繕費及び設備更新に係る経費は下記のとおりです。

- ・高圧ケーブル張替等受電設備改修（2,041,200円）
- ・音響設備更新（3年目）（864,000円）
- ・ホワイエ照明設備更新（425,002円）
- ・屋上受水槽F号ボールタップ交換（324,000円）
- ・舞台袖倉庫照明器具取替（158,982円）
- ・メインホール南側通路誘導灯修繕（140,400円）

□効果・達成度

音響設備更新（3年計画）の3年目として、舞台上につり上げているコンパクトスピーカーの更新、また、音響卓に入る回線についてもチェックを行いました。これにより貸館業務、自主公演事業において、より安定した音響環境を構築することができました。

□課題・改善

施設の老朽化により、修繕の必要箇所が増えてきています。また今後予想外の修繕がでてくる可能性も考えられます。緊急を要する箇所を洗い出し計画的に修繕を行っていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
31,362,000	30,088,970		4,200,000	3,197,485	22,691,485

事業名／エルデホール自主公演事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習		③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	文化プロデューサー養成講座などの機会提供		
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財		①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施		

◆事業内容(目的・必要性)

公演を通じて、地域住民に人生の生きがいと楽しみを提供できる機会をつくることを目的に、自主事業を実施しました。事業は、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業、住民参加型事業等、テーマ別に実施しました。

◆事業の成果

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために6回の自主公演事業（うち1回は住民企画事業）を実施しました。これに伴う入場料収入の合計は3,538,000円でした。

・自主事業一覧

実 施 日	内 容	人数 (人)
6月3日(日)	【住民企画事業】 うしをみやこコンサート	339
7月8日(日)	清塚信也ピアノリサイタル	350
8月12日(日)	エルデサマーコンサート2018 末延麻裕子Violin Live	312
9月15日(土)	三遊亭円楽独演会	300
10月27日(土)	エルデ秋の映画祭	145
2月16日(土)	円広志コンサート2019	315
計		1,761

□効果・達成度

平成30年度も住民の方が企画者として事業に参加していただく住民企画事業を実施しました。今回は出演者も福崎町の出身ということで、より住民に身近な企画が実施できました。また、クラシック、歌のコンサートと様々なジャンルを実施し、幅広い世代の方に芸術とエンターテインメントを楽しんでいただくことができました。

なお、平成30年度のエルデホール自主公演事業平均入場者数は、294人でした。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
自主公演事業平均入場者数(エルデホール)	288	271	272	282	294	290→300

□課題・改善

平成30年度の自主公演につきましても比較的安定した集客を維持できました。すべての企画において行きたいと思っていただけるものを企画するのは難しいですが、公演鑑賞の良さを知っていただきリピーターになってもらえるよう引き続き努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,324,000	10,917,412			3,538,000	7,379,412

1次評価:B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	6. 研修センター 運 営 費	6,969,000 ^円	6,882,353 ^円	86,647 ^円

八千種研修センターは、文化センター（中央公民館）の分館として、地域住民の文化教養の向上や地域社会の連携を深めるために運営しました。その管理・運営を効率的に行うために要した経費です。

事業名／研修センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域文化の向上、研さんの場として、利用者に安全で快適に利用していただくため、適切な管理・運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

平成30年度は、施設の維持補修として、外壁改修工事（988,000円）、ブラインド取替（139,752円）を実施しました。

■八千種研修センターの利用状況

第33回八千種研修センターまつりを平成30年10月20日（土）・21日（日）に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。

■利用状況の推移及び貸出図書数 () は有料件数

	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料 (円)	貸出図書数
28年度	984 (218)	12,667	32,550	1,778
29年度	898 (145)	11,403	31,280	1,622
30年度	893 (177)	10,149	16,490	1,459

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。

□課題・改善

令和元年度は、1階ロビーのブラインド取替、2階和室の広縁レースカーテン取替を実施し、施設改修を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,327,000	4,242,732			16,490	4,226,242

1 次評価:B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	7. 青 少 年 野 外 活動センター費	8,920,000 ^円	8,400,696 ^円	519,304 ^円

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要した経費です。

事業名／青少年野外活動センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
◆ 取 組 内 容	多彩な学習機会を提供	

◆事業内容(目的・必要性)

野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民に自然にふれる機会や交流の場を提供するため、安全快適な施設管理を行いました。

◆事業の成果

■主な施設修繕料

- ・第2駐車場舗装改修工事 216,000円 (請負業者：株式会社セイトー)
- ・管理棟テラス手摺改修工事 4,000,320円 (請負業者：牛尾建設株式会社)

■主な委託料

- ・清掃委託料 156,153円 (請負業者：ハクロ福株式会社、橋本株式会社、田口区)
- ・警備委託料 142,560円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・電気設備管理委託料 172,800円 (請負業者：小國電気設備管理事務所)

■利用状況

(単位：円)

年度	施設利用者数 (人)	利 用 団体数	施設利用料	山小屋	テント	テント サイト	食器類	管理棟・ 多目的ホール	シャワー	その他	合計
27年度	8,885	434	1,255,455	132,300	115,360	42,420	38,400	1,020	84,200	0	1,669,155
28年度	7,081	409	1,111,345	127,860	64,890	34,650	37,875	1,275	92,800	0	1,470,695
29年度	7,760	383	992,340	93,975	51,500	30,450	26,775	1,530	90,500	0	1,287,070
30年度	6,311	331	975,340	100,200	59,950	31,710	21,650	2,390	80,400	0	1,271,640

※利用者数は延べ人数で集計しています。

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、1年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に年間を通して利用いただけるよう、恵まれた立地

を生かした広報活動を行う必要があります。また、平成30年度に老朽化した管理棟テラス手摺の改修工事を実施しました。今後も利用者の安全を図るための取り組みを継続する必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,920,000	8,400,696			1,271,640	7,129,056

1 次評価:A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	8. 人権教育振興費	4,898,000 ^円	4,796,939 ^円	101,061 ^円

急激な社会構造の変化により、人権問題も多様化・複雑化し、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、外国人等の問題に加えて、個人情報流出、働く人の人権等、新たな問題が生じています。また、国内では人権に関連した法律の整備が進んでいます。

福崎町では、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表すことが文化として定着している社会をめざして、人権について一層理解を深めていただくために、家庭や学校、職場、地域において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。自治会単位研修会の場で、また、人権啓発冊子を用いて、「障害者差別解消法」や「部落差別解消推進法」等、人権に関わる法律について町民へ周知しました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざすため、「福崎町男女共同参画基本計画」を効果的に推進しました。

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み	
I 地域づくり・行政	1 参画と協働	④男女共同参画社会の実現	
総 ◆ 取 組 内 容	関係機関連携、啓発活動の推進	学習機会の充実	
II 教育・文化	6 人権教育	②人権尊重の視点にたった行政の推進	
総 ◆ 取 組 内 容	広聴・広報活動と情報公開		

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値・行政改革	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
審議会委員などへの女性登用率	27.4%	29.7%	31.8%	33.0%	31.9%	30.0%→33.0%

事業名／人権教育振興事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み	
II 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進	
総 ◆ 取 組 内 容	自治会学習会	地域の教育力の活用	
総 ◆ 取 組 内 容	人権フェスティバルの開催		

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民等の人権意識高揚を図るため、自治会単位研修会を開催しました。また、「人権文化を高める教育内容を創造しよう」をテーマとした研究大会に参加しました。

男女共同参画社会実現のため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の周知、啓発を図りました。

◆事業の成果

■研修会の開催及び研究大会・講演会への参加

- ・人権・青少年健全育成研修会
(区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修)
平成30年5月19日(土) 啓発DVD視聴・講話 参加者:100人
- ・自治会単位人権・青少年健全育成研修会
33自治会が実施 参加者:1,038人
- ・神崎郡人権教育研究大会
平成30年8月1日(水) 市川中学校
学校教員を主に企業の参加者により人権関係の研究課題を討議 参加者:99人
- ・神崎郡人権教育研究協議会 学校園所部会人権教育講演会
平成30年8月23日(木) 市川町文化センター (※台風20号の影響により中止)
- ・兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会
平成30年8月19日(日) 相生市文化会館扶桑電通なぎさホールほか 参加者:23人
- ・兵庫県人権教育研究大会中央大会
平成30年9月30日(日) 姫路東高等学校ほか (※台風24号の影響により中止)
- ・神崎郡人権教育研究協議会指定実践発表会(公開授業・公開保育、全体会)
平成30年11月10日(土) 瀬加保育所、瀬加小学校 参加者:約400人(神崎郡)
- ・西播磨地区人権教育研究協議会 啓発大会
平成31年2月2日(土) たつの市青少年館 参加者:4人
- ・神崎郡民主化推進連絡協議会人権啓発講演会
平成30年12月8日(土) 福崎町エルデホール 参加者:355人
演題:「一緒に生きて行きましょう ～生きるということ～」
講師:作家・僧侶 家田 荘子

■福崎町男女共同参画基本計画の推進

- ・国の男女共同参画週間にあわせて講演開催
平成30年6月22日(金) 福崎町文化センター 参加者:43人
講演:「男女共同参画時代のテレビとのつきあい方～サザエさんからニュース番組まで～」
講師:NPO法人SEAN 理事長 小川 真知子
- ・国の男女共同参画週間にあわせて広報掲載、図書館に男女共同参画に関する図書コーナー設置
- ・女性のためのチャレンジ相談(県事業の活用)
平成30年11月7日(水) サルビア会館 相談者3人
- ・女性のための働き方セミナー(県事業の活用)
平成30年9月27日(木) サルビア会館 参加者9人

■負担金

- ・神崎郡人権教育研究協議会負担金 303,000円
- ・神崎郡人権問題対策協議会負担金 170,000円
- ・神崎郡民主化推進連絡協議会負担金 57,000円
- ・(公財)人権教育啓発推進センター年会費 20,000円

■補助金

- ・自治会単位研修会補助金 788,000円
- ・福崎町民主化推進協議会運営補助金 450,000円

□効果・達成度

自治会単位研修会では、正しく知ることが同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の解決につながるということを参加者の方に認識していただくことができました。

また、研究大会・講演会には、学校教員のほか、多くの方に参加いただき、他市町や他団体との交流等をおして人権意識の高揚を図ることができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
自治会単位研修会への参加者数	1,167	1,105	1,247	1,065	1,038	1,300

□課題・改善

自治会単位研修会への参加者数は平成29年度より減少しました。研修会への参加者が固定化、高齢化しています。様々な年代層にも参加いただくために、自治会長、人権教育推進委員と連携し、地域の実情に応じた研修会の開催に努めます。研修会などをおして、人権問題を知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に取り組みます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,090,000	2,007,250				2,007,250

事業名／人権啓発事業

◆事業内容(目的・必要性)

人権意識高揚のため、県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する啓発事業で、県の補助事業です。

◆事業の成果

■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル（神崎郡民主化推進連絡協議会と共催）

平成30年12月8日（土） 福崎町エルデホール 参加者：355人

- ・体験発表 小中学生
- ・講演 演題：「一緒に生きて行きましょう ～生きるということ～」
講師：作家・僧侶 家田 莊子
- ・展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語
- ・人権啓発資材の配布（人権標語入りメモ帳400冊）

■人権啓発冊子

- ・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」作成・全戸配布 6,300部 387,828円
- ・「元気UPじんけん」 成人式配布 200部 20,000円

■啓発DVDの購入

- ・「君が、いるから」 64,800円

□効果・達成度

多くの方々の人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。

□課題・改善

多くの方々があらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会

話のきっかけとなるよう、今後も継続してフェスティバルを開催します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1, 188, 000	1, 171, 523	305, 000			866, 523

事業名／人権意識高揚（心の教育）活動委託事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総 ◆ 取 組 内 容	インターネット上での危険未然防止(普及啓発、研修会)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総 ◆ 取 組 内 容	人権教育を推進、人権意識の高揚	

◆事業内容(目的・必要性)

児童・生徒一人ひとりが、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的に各種事業を実施しました。

◆事業の成果

子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得するには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習（インターネットによる人権侵害についての学習等）を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。

□効果・達成度

身近な人権課題解決のためのグループ討議や講話による学習や地域住民との清掃ボランティア活動などの交流等を通じて、子どもたちの「豊かな心と生きる力」を育むことができました。

□課題・改善

今後も適正に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1, 620, 000	1, 618, 166				1, 618, 166

1次評価:A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	9. 辻川界限文化振興費	29, 808, 000 ^円	28, 315, 193 ^円	1, 492, 807 ^円

辻川界限の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な事業としては、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅の管理、第39回山桃忌の開催です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民組織の育成(辻川界限の観光振興・地域活性化)	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総 ◆ 取 組 内 容	辻川山周辺全体を観光拠点整備、交流の地域づくり	

事業名／歴史民俗資料館運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集保存し一般に公開するため、各種事業を実

施しました。

◆事業の成果

■展示活動

明治150年の節目にあたり、明治期の福崎の歴史をふりかえるとともに、幕末から明治にかけて活躍した福崎ゆかりの人々を紹介した特別展を開催しました。

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月7日～5月31日	企画展「福崎町名誉町民吉識雅夫～造船王国・日本の先導者～」	3,300人	展示点数 60点
10月20日～12月2日	特別展「明治の福崎～福崎の近代化と明治の人々～」	1,973人	展示点数 121点

■資料収集

郷土資料を収集しました。平成30年度は、6人の方から民具・文書等42点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

- ・ふくさき歴史体験隊 隊員数12人 講師補助員8名

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界限における柳田國男の足跡めぐりをはじめ、はにわづくりや郷土食づくり等を行い、指導者等さまざまな年齢層の方との交流を図ることができました。

- ・連続講座「福崎の今につながる明治の足あと」

本講座では、明治時代の福崎や福崎ゆかりの人物をとおり、福崎町の歴史・民俗・文化をより深く理解していただく機会を提供しました。

■入館者数 13,120人（平成29年度12,729人、平成28年度13,958人）

□効果・達成度

年間を通じて、企画展や連続講座、ふくさき歴史体験隊事業等を実施し、幅広い年代層に郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供することができました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,772,000	3,296,873				3,296,873

事業名／柳田國男・松岡家記念館管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総	◆ 取 組 内 容	柳田國男・松岡家記念館リニューアル改修	

◆事業内容(目的・必要性)

日本民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに一般に公開しました。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設の環境改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用継続して取り組みました。

◆事業の成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しました。平成30年度は2人の方から松岡家資料51点の寄贈をいただきました。

■松岡映丘画稿補修委託

委託料：478,332円（受託業者：㈱工房レストア）

作品9点 「稚児観音」「業平」「春夏秋冬 夏」「志賀の浦波」「熊野（清水詣）」「東下り」「初詣」「詣」「旅道中」

■講演会

- ・「あまりにも早過ぎた松岡静雄の学問」11月17日（土）

講師：石井正己 参加者：30人

■入館者数14,059人（平成29年度14,974人、平成28年度15,809人）

□効果・達成度

開館40年以上を経過した記念館や生家については、日々の施設点検・記録を行い、雨漏りの早期発見、対処等、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
柳田國男・松岡家記念館入館者数	12,261	13,222	15,809	14,974	14,059	16,000

□課題・改善

老朽化した施設の環境改善、展示を含めた施設リニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,986,000	3,581,087			478,000	3,103,087

事業名／柳田國男・松岡家記念館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総◆取組内容	名誉町民の顕彰	遠野市との交流を促進

◆事業内容(目的・必要性)

柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、各種事業を実施しました。

第39回山桃忌、松岡静雄生誕140年記念展等を実施しました。第5回柳田國男検定では、上級編の最高得点者に「遠野への旅」を贈りました。教育普及活動では、伊勢大神楽や版画教室を開催しました。

◆事業の成果

■第39回山桃忌

[1日目]8月4日（土）

「第1部 柳田國男と『遠野物語』」参加者：234人

内容：山桃忌 式典

「ギター・マンドリン演奏」福崎高等学校ギター・マンドリン部

基調講演「『故郷七十年』と『遠野物語』」

柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

シンポジウム「柳田國男と『遠野物語』」

コーディネーター：石井正己

パネリスト：韓国・全南大学校教授 金容儀

千葉大学名誉教授 荻原真子

宮本常一記念館学芸員 高木泰伸

神戸医療福祉大学教授 足立泰紀

[2日目] 8月5日(日)

「第2部 『遠野物語』の世界を知る」参加者：251人

内容：「遠野の民俗芸能」解説 柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

『遠野物語』の語り 語り部 大平悦子

「さらわれた娘」「狼のはなし」「妻のたましい」「きつねと鉄砲うち」

遠野の民俗芸能「しし踊り」披露 張山しし踊り保存会

「通り」「門がかり」「刀掛」「すな踊り」「柱がかり」「しきは」

■第5回柳田國男検定（初級編、中級編、上級編）

実施日：8月5日(日)

受験者数：初級編28人、中級編17人、上級編8人

合格者数：初級編10人、中級編13人、上級編5人

■展示活動

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月7日～5月27日	企画展「松岡映丘画稿展～やまと絵でみる平安王朝の雅～」	3,243人	展示点数 8点
9月15日～11月25日	記念展「松岡静雄展～南洋に魅せられた海軍大佐～」 (地方創生推進事業)	3,188人	展示点数 88点
10月30日～12月9日	「福崎町子どもふるさと展」	1,976人	展示点数 79点

■講演会

- ・「近代日本における出産と産屋」9月16日(日)

講師：伏見裕子 参加者：30人

■教育普及活動

- ・伊勢大神楽 11月10日(土) 出演：加藤菊太夫 参加者：147人
- ・岩田健三郎版画教室 12月9日(日) 講師：岩田健三郎 参加者：36人

■第6回福崎町柳田國男ふるさと賞

柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。

- ・小学校低中学年の部

内藤のこ（八千種小学校4年生） 作品名「三吉ギツネについて」

・小学校高学年の部

中野唯吹・萩原京太郎（田原小学校6年生） 作品名「福崎のお店について」

・中学校の部

吉田愛菜（福崎西中学校2年生） 作品名「福崎町の大歳神社巡り」

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞

平成30年度受賞作品「偉人崇拜の民俗学」及川祥平

■館報「うぶすな」発行（6,500部）

□効果・達成度

山桃忌、柳田國男検定、企画展、記念展、ふるさと賞等、年間を通じて顕彰事業に取り組み、「柳田國男生誕の地 福崎町」を町内外に発信し、松岡五兄弟への理解を深めることができました。

□課題・改善

柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できる分かりやすい催しや展示手法を引き続き研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 （単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,522,000	3,470,783			30,000	3,440,783

事業名／三木家住宅等管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総 ◆ 取 組 内 容	三木家住宅の文化交流活動拠点としての活用	

◆事業内容(目的・必要性)

平成22年度から進めてきた主屋に関連する保存修理工事の終了により、三木家住宅を活用していくため、平成29年度から主屋部分を展示施設として一般公開を行っています。三木家の歴史や魅力を来館者に伝えるため、公開記念イベントを実施しました。

また、植木の管理や屋内外の清掃等も行い、文化財の維持管理に努めました。

◆事業の成果

■主屋公開事業

■三木家住宅主屋公開イベント

実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
4月7日(土) ～4月30日(月)	鈴木みゆき作品展～四季の詩～	鈴木みゆき	1,128
5月3日(木) ～6月3日(日)	企画展「五月人形展」	—	1,323
7月14日(土)	手づくり講習会「三木家de風鈴づくり」	—	67
7月14日(土) ～8月26日(日)	企画展「手づくり風鈴展」	—	584
10月6日(土) ～12月2日(日)	特別展示「三木家好学の当主 三木通深」 (地方創生推進事業)	—	1,852
11月11日(日)	三木家入門講座② 「三木家住宅と三木家の人々 ～三木通深のことなど～」	神戸医療 福祉大学 岩井忠彦	20
11月18日(日)	手づくり講習会「つのなす工作」	福崎切り花 部会	25
12月7日(金) ～12月16日(日)	三木家de播磨ふるさと写真展	—	138
1月5日(土) ～1月27日(日)	企画展「三木家ゆかりの着物展・正月飾り」	—	193
2月9日(土) ～3月24日(日)	企画展「わが家の雛人形展」	—	551

■画稿等補修委託

委託料：251,856円（受託業者：㈱工房レストア）

資料4点「諸事控」「江戸紀行」「揺籠船」「屋敷図」、掛軸1点

■庭園植木等管理業務委託

委託料：237,600円（受託業者：宮下造園土木）

工 期：平成30年6月8日（金）～平成30年10月31日（水）

■開館日数・入館者数

開館日数 157日 入館者数 7,367人

□効果・達成度

四季に応じた展示、講習会等を実施し、多くの見学者を得て、文化財保護意識を醸成することができました。

□課題・改善

来訪者がいっそう快適に利用していただけるよう、引き続き良好な施設管理・運営に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,704,000	3,383,711				3,383,711

事業名／辻川界限文化振興事業

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界隈の活性化のため、文化財の保護及び観光振興に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■松岡五兄弟石像及び短歌祭掲示板のモニュメント保険、望郷の丘の建物共済保険に継続加入しました。

■辻川山の学問成就の道に幟を設置しました。

辻川界隈活性化事業支援補助金（辻川区） 58,320円

□効果・達成度

辻川界隈の観光振興に寄与しました。

□課題・改善

三木家住宅、旧辻川郵便局の活用について、引き続き総合的に検討を進める必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,310,000	1,077,425				1,077,425

事業名／地方創生推進事業（辻川界隈文化振興）

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界隈活性化のため、地方創生推進事業補助金を活用し、各種事業を実施しました。三木家住宅資料の保存活用のため、神戸大学大学院人文学研究科との共同研究による文献資料調査を実施しました。

◆事業の成果

■三木家住宅 特別展示 平成30年10月6日～12月2日

「三木家好学の当主 三木通深」 入場者1,852人 展示点数28点

■記念館 松岡静雄生誕140年記念展 平成30年9月15日～11月25日

「松岡静雄展～南洋に魅せられた海軍大佐～」 入場者3,188人 展示点数88点

■記念館 韓国語リーフレット作成（500部）

■記念館 松岡五兄弟啓発グッズ作成

（付箋500冊・一筆箋500冊・レターセット500組）

■記念館・歴史民俗資料館 ロゴ作成（2種）

□効果・達成度

辻川界隈のシンボリック的存在である三木家住宅の主屋を公開し、資料調査の成果を活用した特別展示を実施することで来訪者が増加しました。また、松岡静雄生誕140年記念展を開催し、松岡五兄弟のグッズの作成や多言語化により、ゆかりの地である辻川界隈の周知を進めることができました。

□課題・改善

引き続き辻川界隈の情報発信と地域の歴史資源の保存・活用を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,600,000	4,595,970	1,999,581			2,596,389

1 次評価:B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	10. 文化財保護費	8,525,000 ^円	8,342,790 ^円	182,210 ^円

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査です。

事業名／文化財保護一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》		町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
◆ 取組内容	文化財調査の実施、成果の公開 収蔵施設の整備	組織や人材の育成(文化財保存・活用)
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
◆ 取組内容	旧辻川郵便局の観光交流拠点として保存整備	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	②緑地の推進
◆ 取組内容	神社仏閣、境内地樹木等緑地の景観保全	

◆事業内容(目的・必要性)

文化財を保存し、活用を図るため、町指定文化財の保存継承事業等への補助金交付や説明看板の整備を行いました。文化財行政について専門的な立場から審議していただくため、文化財審議委員会を開催しました。

福崎町の地域歴史遺産を掘り起こすため、神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業に取り組みました。

◆事業の成果

■町指定古墳周辺整備補助金：4古墳×10,000円＝40,000円

大塚古墳（山崎）・妙徳山古墳（神積寺）・相山古墳（西大貫）・神谷古墳（醫王寺）

■町指定民俗文化財保存継承事業補助金：6保存会×30,000円＝180,000円

浄舞（熊野神社）・浄舞（余田大歳神社）・追儺（神積寺）

かくしほちょじ（鍛冶屋）・法成就講（高橋）・獅子舞（桜）

■町指定文化財整備事業補助金

固寧倉 南面妻補修工事 補助金：29,000円（補助事業者：福田区）

■県指定文化財保存補助金

應聖寺庭園保存修理工事 補助金：621,000円（補助事業者：（宗）應聖寺）

■町指定文化財等説明看板修理（岩尾神社本殿、石造地藏菩薩立像）

■町天然記念物イチョウ養生委託

委託料：345,600円（受託業者：（株）グリーンメンテナンス）

調査日：平成30年11月21日（水）

■文化財審議委員会

第1回：平成30年7月6日（金） 第2回：平成31年3月15日（金）

□効果・達成度

町指定文化財保存継承事業等に補助金を交付することで、文化財保護活動の促進を図りました。

神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、松岡家に関する資料調査を継続して行い、今年度は松岡静雄生誕140年に際し、静雄に関する資料収集・分析の成果を記念展や広報紙等で広く町民に

発信しました。また、地域資料の保全、活用のため、中島地区住民と共に地区文書の整理を実施し、目録の作成を進めることができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
文化財の指定件数	44	44	44	46	46	48

□課題・改善

住民に文化財の重要性を認識していただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。

文化財や郷土資料を保存継承していくため、適切な保存環境を備えた収蔵施設の整備が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,135,000	3,047,230				3,047,230

事業名／埋蔵文化財発掘調査事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、成果の公開	組織や人材の育成(文化財保存・活用)
総	収蔵施設の整備	

◆事業内容(目的・必要性)

埋蔵文化財を適切に保護していくため、開発事業との円滑な調整を図り、調査を行いました。

◆事業の成果

埋蔵文化財包蔵地内の民間開発等に伴う試掘調査を15か所、確認調査を13か所で行いました。道路整備工事に伴う試掘調査の結果、中世の建物跡などが見つかったことから上坂遺跡を新たに遺跡として登録し、本調査を実施しました。ほかにも、福崎駅周辺整備に伴う中溝遺跡の調査など合計8件の本調査を行いました。

■民間開発等に伴う試掘調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
悟真院建て替え工事に伴う試掘調査	—	—	宅地	平成30年 5 月 9、10日 (1.5日)	2 か所 14.5㎡
露天駐車場建設工事に伴う八千種字前垣内試掘調査	—	—	畑地	平成30年 5 月29日 (半日)	1 か所 4 ㎡
個人住宅新築工事に伴う南田原字ナコザ試掘調査	—	—	宅地	平成30年 5 月29日 (半日)	1 か所 4 ㎡
福崎駅前整備事業に伴う試掘調査	—	—	宅地	平成30年 6 月13日 (半日)	1 か所 2.6㎡
事務所、通所介護施設新築事業に伴う南田原字金垣内試掘調査	—	—	水田	平成30年 8 月22日 (半日)	5 か所 20㎡
福崎町都市再生整備事業に伴う西田原字上坂試掘調査	—	—	更地	平成30年 7 月10日 (半日)	3 か所 12㎡
個人住宅新築工事に伴う西田原字西広岡試掘調査	—	—	水田	平成30年 9 月12日 (半日)	1 か所 4 ㎡
個人住宅新築工事に伴う八千種字南ノ下試掘調査	—	—	休耕田	平成30年 9 月18日 (半日)	2 か所 8 ㎡
個人住宅新築事業に伴う福田字前垣内試掘調査	—	—	水田	平成30年 9 月26日 (半日)	1 か所 4 ㎡
太陽光発電設備設置工事に伴う大貫字石引試掘調査	—	—	休耕田	平成30年10月15日 (半日)	2 か所 8 ㎡
町道東大貫溝口線接続道路改良工事に伴う試掘調査	—	—	休耕田	平成30年10月23日 (半日)	1 か所 4 ㎡
擁壁設置工事に伴う東田原字掛上がり試掘調査	—	—	休耕田	平成30年12月 4 日 (半日)	1 か所 2 ㎡
倉庫新築工事に伴う西治字市川端試掘調査	—	—	宅地	平成31年 1 月15日 (半日)	2 か所 8 ㎡
公民館新築工事に伴う福田字中垣内試掘調査	—	—	宅地	平成31年 2 月18日～22日 (5 日)	2 か所 15.5㎡
金剛城寺倉庫新築工事に伴う試掘調査	—	—	宅地	平成31年 3 月12日 (半日)	1 か所 4 ㎡

■民間開発等に伴う確認調査

遺 跡 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
南田原条里遺構第38次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	その他	その他	水田	平成30年 4 月25日 (半日)	1 か所 4 m ²
下々通遺跡第2次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	平安	散布地	水田	平成30年 6 月13日 (半日)	2 か所 8 m ²
南田原条里遺構第41次 (店舗新築工事に伴う確認調査)	奈良 その他	集落 その他	休耕田	平成30年 7 月24日 (半日)	2 か所 8 m ²
北野散布地第6次 (太陽光発電設備設置工事 に伴う確認調査)	弥生 ～ 中世	散布地	水田	平成30年 9 月12日 (半日)	2 か所 8 m ²
南田原条里遺構第42次 (歯科医院新築工事に伴う 確認調査)	奈良 その他	集落 その他	休耕田	平成30年10月10日 (半日)	1 か所 4 m ²
下遺跡第1次 (福崎町東部工業団地拡張 事業に伴う確認調査)	中世	散布地	休耕田 ほか	平成30年10月23日 (半日)	4 か所 16m ²
清水遺跡第3次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	古墳	散布地	宅地	平成30年11月14日 (半日)	1 か所 4 m ²
南田原条里遺構第43次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	奈良 その他	集落 その他	宅地	平成30年11月14日 (半日)	1 か所 4 m ²
南田原条里遺構第44次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	奈良 その他	集落 その他	宅地	平成30年11月19日 (半日)	1 か所 4 m ²
加治谷越前遺跡第3次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	縄文 ～ 中世	集落	休耕田	平成30年12月 4 日 (半日)	1 か所 4 m ²
西田原辻ノ前遺跡第4次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	中世	集落	宅地	平成30年12月14日 (半日)	1 か所 4 m ²
南田原条里遺構第45次 (個人住宅新築工事に伴う 確認調査)	奈良 その他	集落 その他	宅地	平成31年 1 月21日 (半日)	1 か所 4 m ²
北野散布地第7次 (宅地造成工事に伴う確認調査)	弥生 ～ 中世	散布地 集落	水田	平成31年 1 月21日 (半日)	1 か所 4 m ²

■民間開発等に伴う本調査

遺 跡 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
西田原上野田遺跡第4次 (宅地造成工事に伴う本調査)	弥生 ～ 中世	集落	水田	平成30年4月3日～13日 (9日)	410㎡
西光寺中遺跡第2次(準公民館新築工事に伴う本調査)	中世	集落	宅地	平成30年4月10日(1日)	21㎡
鍛冶屋遺跡第4次(個人住宅新築工事に伴う本調査)	平安 中世	散布地 集落	水田	平成30年4月16～19日 (4日)	93.1㎡
南田原条里遺構第39次 (個人住宅新築工事に伴う本調査)	奈良 その他	集落 その他	宅地	平成30年6月4日～6日 (3日)	42㎡
南田原条里遺構第40次 (店舗新築工事に伴う本調査)	奈良 その他	集落 その他	休耕田	平成30年6月11日～ 8月1日(28日)	802㎡
中溝遺跡第2次(福崎駅整備事業に伴う本調査)	中世	散布地 集落	更地	平成30年8月2日 ～17日(10日)	250㎡
上坂遺跡第1次(福崎町都市整備事業に伴う本調査)	中世	散布地	畑地	平成30年8月20日～ 9月27日(24日)	385㎡
北野散布地第8次 (宅地造成工事に伴う本調査)	弥生 ～ 中世	散布地 集落	水田	平成31年2月12日、13日 (2日)	23㎡

□効果・達成度

適切に調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めました。

埋蔵文化財包蔵地の可能性がある箇所について、工事立会や分布調査・試掘調査を行うことで新たな埋蔵文化財が発見され、記録保存を行うことができました。また、歴史民俗資料館の企画展で調査成果を公開することができました。

□課題・改善

引き続き、発掘調査の結果を講座、展示会等で積極的に公開していく必要があります。

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き整理作業を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,390,000	5,295,560	3,075,000		950,000	1,270,560

1次評価:A

(5) 保健体育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5. 保 健 体 育 費	1. 保健体育総務費	22,503,000 ^円	21,780,802 ^円	722,198 ^円

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力している組織の活動費・助成金等です。その活動により、老若男女を問わず、また多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

事業名／保健体育総務一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	②指導体制の確立
◆ 取 組 内 容	指導者の育成 指導体制の確立支援	指導者や審判等の資質向上強化・支援
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
◆ 取 組 内 容	広報活動の充実	子どもの体力向上を目的とした事業の検討・実践
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
◆ 取 組 内 容	住民の自主的な健康づくり活動の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

生涯スポーツ全般にわたる事業推進のため、スポーツ推進委員・普及員が中心となり、地域住民対象のスポーツ大会等を企画・運営し、生涯スポーツの普及発展を図りました。近年の高齢化に対応し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を行いました。

また、生涯スポーツの振興を図るため、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。

◆事業の成果

■スポーツ推進委員会

年4回開催し、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関する審議を行いました。また、スポーツ推進委員の資質・指導力向上及び情報交換等のため研究協議会に出席しました。

□スポーツ推進委員会

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 第1回 平成30年4月5日(木) | 第2回 平成30年7月31日(火) |
| 第3回 平成30年11月14日(水) | 第4回 平成31年1月23日(水) |
| ・中播磨スポーツ推進委員研究協議会 | 平成30年6月17日(日) 姫路市 |
| ・兵庫県スポーツ推進委員研究協議会 | 平成30年10月21日(日) 丹波市 |
| ・兵庫県スポーツ推進委員女性委員研修会 | 平成30年12月1日(土) 福崎町 |
| ・ひょうご女性スポーツの会設立総会 | 平成30年12月15日(土) 神戸市 |
| ・近畿スポーツ推進委員研究協議会 | 平成31年2月1日(金)～2日(土) 京都府城陽市 |

*スポーツ推進委員を26年務めている足立美津子委員が近畿スポーツ推進委員功労者表彰を受けました。

*ポスターセッション発表で『スポーツ推進委員の経験と知識を活かした取組み』をテーマに「地域住民と関わる運動・スポーツの企画・運営等について」福崎町の取組みを中垣早人委員が行いました。

■健康推進事業

健康セミナーを年4回開催し、スポーツ推進委員の知識・技術を活用し暮らしの中での運動習慣の推進を行いました。

□健康セミナー

- | | |
|------------------|-------------------|
| 第1回 平成30年6月2日(土) | 第2回 平成30年8月25日(土) |
|------------------|-------------------|

第3回 平成30年10月20日(土)

第4回 平成31年3月23日(土)

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人12人を表彰しました。

【受賞者一覧】

氏名	所属	内容	成績
澤田龍輝	福崎東中学校 3年生	平成30年度全国中学校総合体育大会 第45回全日本中学校陸上競技選手権大会	陸上競技男子共通 400m出場
長尾涉佑	福崎東中学校 3年生	アルインコカップ争奪第26回ヤングリーグ選手権大会	硬式野球出場
小國玲央	福崎西中学校 3年生	第26回ヤングリーグ中学部春季大会	硬式野球出場
西影政輝	姫路北高等学校 1年生	全国高等学校定時制通信制体育大会 第53回陸上競技大会	陸上競技 男子5000m出場
谷口海斗	神崎高等学校 2年生	平成30年度全国高等学校体育大会自転車競技大会	自転車競技 4kmチームパシュート出場
岩木莉花	日ノ本学園高等学校 2年生	第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会	女子バレーボール 出場
椿龍大朗	市川高等学校 3年生	第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体2018」	相撲競技団体戦 出場
柴田梨帆	琴丘高等学校 3年生	第11回日本高校ダンス部選手権	ダンス競技スモールクラス出場
三輪桜子	姫路商業高等学校 3年生	平成30年度全国高等学校体育大会少林寺拳法競技大会	少林寺拳法女子団体演武 第1位
宮下和実	姫路商業高等学校 3年生	平成30年度全国高等学校体育大会少林寺拳法競技大会	少林寺拳法女子団体演武 第1位
藤本浩輔	大阪産業大学 3年生	第36回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	準硬式野球 優勝
勇内壘揮	びわこ成蹊スポーツ大学 4年生	FINAスイミングワールドカップ2018東京大会	競泳男子50mバックstroke 第47位

□効果・達成

スポーツ推進委員の資質向上・生涯スポーツ活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に大きく成果をあげました。健康セミナーを年4回開催し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を推進しました。

スポーツ功績賞の表彰により、多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになりました。

□課題・改善

スポーツ健康分野において、推進委員の能力を生かし活発な活動を続けていきます。また、自治会の普及員と協力し地域における健康増進活動を活発に進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,428,000	1,302,237				1,302,237

事業名／町体育協会等育成事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
◆ 取 組 内 容	指導者の確保、後継者の育成(近隣大学連携) 施設開放支援	指導者の資質向上、新たな人材を発掘

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町体育協会・福崎町スポーツ少年団の育成強化のため、財政的な補助を行いました。体育協会では、地域住民に対し、秋まつり協賛事業でふくさき食育フェア（健康ブース）、グラウンドゴルフ大会を企画・運営しました。

◆事業の成果

体育協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■平成30年度 福崎町体育協会加盟団体一覧

H31. 3.31現在

団 体 名	会 長 名	会 員 数 (人)	団 体 名	会 長 名	会 員 数 (人)
庭 球 協 会	佐伯武彦	21	卓 球 協 会	高松繁樹	31
ゲートボール協会	上野昭郎	7	野 球 協 会	中塚幹男	44
陸 上 競 技 協 会	岩崎文治	28	バレーボール協会	松山濫久	21
少 林 寺 拳 法 協 会	生田久人	30	水 泳 協 会	三輪和幸	21
柔 道 協 会	難波弘一	35	山 の 会 協 会	楠田道廣	60
合 氣 道 協 会	羽室研二	20	ソフトボール協会	三輪一朝	240
ソフトバレーボール協会	米田 泉	50	グラウンドゴルフ協会	尾崎久一	225
剣 道 協 会	大西崇博	22	ゴ ル フ 協 会	北山孝彦	7
合 計					862

■平成30年度 福崎町体育協会決算書

歳 入			歳 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	34,000	加盟協会から @2,000×17	事 業 費	1,791,570	加盟協会助成金 大会賞品等
補 助 金	1,744,000	町補助金	事 務 費	11,358	事務用品他
繰 越 金	152,255	前年度繰越	基 金 費	50,000	50周年記念事 業積立基金
事 業 収 入	20,000	大会参加料			
戻 入	94,000	戻入	予 備 費	0	
雑 入	2	利息	合 計	1,852,928	
合 計	2,044,257				

歳入歳出差引額 191,329円(令和元年度へ繰越)

■平成30年度 福崎町スポーツ少年団決算書

歳 入			歳 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	98,000	加盟団から @1,000×98名	登 録 費	81,400	県登録料他
			事 業 費	104,000	大会補助金他
			事 務 費	3,127	郵便料他
補 助 金	90,000	町補助金	会 議 費	860	会議用飲料
繰 越 金	35,369	前年度繰越金	慶 弔 費	0	

雑入	28,040	大会参加料他	予備費	14,040	
合計	251,409		合計	203,427	

歳入歳出差引額 47,982円（令和元年度へ繰越）

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む16協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

予算額	決算額	財源内訳（単位：円）			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,834,000	1,834,000				1,834,000

事業名／子ども会運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総◆取組内容	青少年団体への支援(青少年の自主的な活動を促進)	

◆事業内容(目的・必要性)

子どもたちの福祉増進のため、町内子ども会相互の連携と子ども会の自主的な活動の充実を図り、各種行事に取り組みました。主な行事としては、子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会・郡球技大会を実施しました。

また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、郡オセロ大会・町少年少女将棋大会を開催しました。

◆事業の成果

■町球技大会の結果：平成30年7月1日（日） 場所 田原小学校

部門	優勝	準優勝	3位	
ソフトボール	田尻	辻川	新町	庄・余田
バレーボール	山崎	田口・長野	大門	新町

優勝、準優勝チームは平成30年7月21日（土）に福岡町で開催された神崎郡子ども会球技大会に出場し、ソフトボールの部において辻川子ども会が優勝、田尻子ども会が準優勝、バレーボールの部において山崎子ども会が優勝に輝く活躍を見せました。

■神崎郡オセロ大会：平成30年9月2日（日） 場所：福岡町 文化センター

参加者（福岡町からの参加者）

小学校低学年の部	35人
小学校高学年の部	22人

■町少年少女将棋大会：平成30年12月2日（日） 場所：福岡町文化センター

参加者

小学校低学年の部	14人
小学校高学年の部	9人

□効果・達成度

各種行事を通して、子どもたちの身体的・精神的な向上を図るとともに、子ども・保護者ともに地域

での交流を促進することができました。

□課題・改善

町の将棋大会の参加者を増やすため、広報活動にいつそう努めます。また、球技大会練習時のケガを少なくするために、さらなる安全教育を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,118,000	1,887,473				1,887,473

1 次評価:A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
5.保 健 体 育 費	2.給 食 運 営 費	242,915,000 円	241,965,602 円	949,398 円

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康増進・体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的な役割も担っています。

給食センターでは、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として、地場産物の活用を推進し、学校給食を生きた教材として活用した食育に取り組みました。

事業名／給食センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年4月から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食運営の合理化を図ると共に、平成29年度に引き続き、各作業場に設置した6台のテレビカメラシステムを活用し、調理現場における安全衛生管理を行いました。また、カメラで記録された調理作業や洗浄作業の様子は、施設見学時や各種団体の試食会の際にテレビ画面で再生し、福崎町の安全安心な給食づくりの実態を広くPRしました。

給食の試食会については、12回(延人数209人)受け入れました。空調設備は15年が経過し、耐用年数や部品供給の観点から機器更新をするため、実施設計業務を委託しました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、効率よく徴収率の向上を図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、現年度給食費の滞納額の減少に努めました。

◆事業の成果

■収入状況

(単位：円)

年度	区 分	調 定 額	収 納 額	不納欠損額	滞 納 額	徴収率(%)
30	現年度	100,646,682	100,305,098	0	341,584	99.7
	過年度	1,092,309	308,604	0	783,705	28.3
	計	101,738,991	100,613,702	0	1,125,289	98.9
29	現年度	101,719,820	101,523,424	0	196,396	99.8
	過年度	1,063,325	167,412	0	895,913	15.7
	計	102,783,145	101,690,836	0	1,092,309	98.9

私立認定こども園から給食事業諸経費納付金（給食にかかる電気代・水道代・消耗品費）として、530,000円収入しました。

■支出状況

平成15年6月から供用開始した、給食センターの厨房機器・設備機械等は耐用年数の経過で消耗部品に不具合が生じ、給食センター管理事業の修繕料を2,555,389円支出し、空調設備も耐用年数や部品供給の観点から機器更新をするため、実施設計業務を委託し1,976,400円を支出しました。長目地区から給食センターの土地の一部を借地していましたが、買取り23,541,210円を支出しました。

■学校給食費 調定額及び収入状況 (R1.5.31現在)

(単位：円)

学校または施設名	調 定 額		収 入 済 額		不納欠損額		収 入 未 済 額	
	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度
福 崎 小	21,308,072	372,288	21,104,688	54,256	0	0	203,384	318,032
高 岡 小	3,590,276	97,076	3,590,276	87,040	0	0	0	10,036
田 原 小	24,024,310	328,053	23,980,414	60,000	0	0	43,896	268,053
八 千 種 小	7,151,481	0	7,151,481	0	0	0	0	0
計	56,074,139	797,417	55,826,859	201,296	0	0	247,280	596,121
西 中	13,485,888	236,282	13,415,384	91,108	0	0	70,504	145,174
東 中	19,091,482	40,538	19,082,182	0	0	0	9,300	40,538
計	32,577,370	276,820	32,497,566	91,108	0	0	79,804	185,712
福 崎 幼	1,787,565	11,200	1,778,865	11,200	0	0	8,700	0
高 岡 幼	270,020	0	270,020	0	0	0	0	0
田 原 幼	2,717,545	6,872	2,711,745	5,000	0	0	5,800	1,872
八 千 種 幼	895,475	0	895,475	0	0	0	0	0
計	5,670,605	18,072	5,656,105	16,200	0	0	14,500	1,872
給食センター職員	641,838	0	641,838	0	0	0	0	0
私立こども園	5,682,730	0	5,682,730	0	0	0	0	0
計	6,324,568	0	6,324,568	0	0	0	0	0
合 計	100,646,682	1,092,309	100,305,098	308,604	0	0	341,584	783,705

□効果・達成度

現年度給食費の徴収率は、平成29年度より0.1%減の99.7%となりましたが、過年度給食費の徴収率は平成29年度より12.6%増の28.3%となりました。また、現年度・過年度合わせて、徴収率98.9%で平成29年度と同じでした。

□課題・改善

今後、給食費の現年度分をできるだけ滞納繰越にしないように早めの対策を講じるとともに、過年度滞納分についても徴収体制の確立・臨戸訪問強化を行い、徴収率の向上につなげていきます。厨房機器等の更新も計画的に実施していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
52,612,000	52,043,447				52,043,447

事業名／給食センター給食事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に県内産食材を優先して使用し、歳時記に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ麺やもちむぎ精麦を使用した献立を積極的に取り入れました。そうした福崎町の給食をPRするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝えたり、町民対象の給食試食会や福崎秋まつりでのパネル展示等を実施したりし広く町民にもPRしました。

一日平均給食供給人員約2,560人に対して、小学校年間180日、中学校年間177日、認定こども園（1号認定）年間168日、認定こども園（2号・3号認定）年間273日の給食を提供しました。給食延べ人員は、486,944人でした。

平成30年4月から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食運営の合理化を図りました。

【コーベフーズ株式会社：61,298,224円】

■給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で102,069,821円です。

給食原材料費内訳 (単位：円)

	金 額
副 食 費	63,806,664
米 飯 代	17,389,806
パ ン 代	3,753,464
牛 乳 代	17,119,887
計	102,069,821

■地産地消の取り組み

- ・「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」の中の「地産地消の推進・食文化の継承」に基づき、給食センターでは、学校給食における地元野菜（米含む）目標地産地消率（重量ベース）を42%と定め、農林振興課と連携し生産者の協力を得ながら開発した地元産じゃがいもと玉ねぎを使用した「じゃがいもコロッケ」、地元産にんじんを使用した「にんじんゼリー」を平成30年度も給食に提供し、地産地消率アップを図りました。給食における地産地消率は47.5%と平成29年度よりも5.9%増となり、全体の地元野菜の使用量は、2,968.1kg増となりました。また、7月には「福崎町産夏野菜カレー」、12月には「福崎町産冬野菜シチュー」を実施し、福崎町産の野菜を中心に使用した給食で地産

地消をPRしました。

- ・福崎町特産「もち麦」の利用促進については、週1回のパン給食の日には、もちむぎ粉を10%ブレンドした「もちむぎコッペパン」、週4回のご飯給食の日のうち、毎週水曜日には、もちむぎ精麦を8%ブレンドした「もちむぎご飯」を提供しました。また、汁物に「かやくもちむぎ麺」を取り入れる回数を増やし、毎年リクエストが多く好評である「冷やしもちむぎ麺給食」を運動会シーズンに実施して、もち麦の使用に努めました。

□効果・達成度

給食にもち麦を積極的に取り入れることで児童・生徒にもち麦に親しみをもってもらい、給食だけでなくもち麦の良さを広く情報発信することにより、家庭でももち麦を広く活用してもらえるようPRできました。また、毎月、町のホームページに給食献立表及び給食物資の産地情報を掲載して、食の安全性を啓発しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
(学校給食)地場産物使用率	16.2%	17.7%	16.3%	19.5%	27.4%	20.0%
(学校給食)地場産物使用率(米含む)	38.0%	40.7%	37.6%	41.6%	47.5%	42.0%

□課題・改善

今後も地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やし、野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、給食に福崎町産の野菜の取り入れをさらに増やす努力をしていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
179,860,000	179,775,079			101,143,702	78,631,377

1次評価:B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	3.町民グラウンド管理費	44,760,000 ^円	40,771,504 ^円	3,988,496 ^円

町民グラウンドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されました。

事業名／町民第1、第2グラウンド管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

町民第1、第2グラウンドを安全・快適に利用していただくため、改修工事・施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■スポーツ振興くじ助成金を申請し、第1グラウンド改修工事を実施しました。

- ・福崎町第1グラウンド改修工事 29,243,160円 (請負業者:奥アンツーカー(株)近畿支店)

■施設修繕工事を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。

- ・第1グラウンドナイター照明灯安定器・ランプ取替工事 871,344円 (請負業者:高岡電工(株))

・第1 グランド照明漏電配線修繕工事 168,912円（請負業者：高岡電工㈱）

・第1 グランド東面側溝修理工事 294,624円（請負業者：楠田設備工業㈱）

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

・清掃委託料 190,512円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）

・電気設備管理委託料 116,400円（請負業者：小國電気設備管理事務所）

□効果・達成度

第1 グランドでは、照明灯安定器等の取替えを行い、より快適に夜間のスポーツ活動を行える環境を整備しました。第2 グランドでは、グラウンドゴルフを中心に多くの利用がありました。なお、平成30年度社会体育施設(町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、126,931人でした。

□めざそう値

めざそう値・アクションプラン KPI	H26	H27	H28	H29	H30	目標(H30)
社会体育施設利用者数	102,674	120,038	111,821	122,156	126,931	130,000

※町民グラウンド、スポーツ公園、体育館利用者数

□課題・改善

第1 グランドは、表層部の真土が雨による流出や飛散により、傷みが目立っていたため、第1 グランド改修工事を実施し、利用者がより安全で快適に利用できるようになりました。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
36,961,000	33,307,247			13,396,830	19,910,417

事業名／スポーツ公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・器具修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設器具修繕工事を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。

・タイマー・キュービクルフェンス修繕工事 143,640円（請負業者：高岡電工㈱）

・A E D 部品交換 40,824円（請負業者：(有)松岡医療器）

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

・警備委託料 285,120円（請負業者：セコム㈱加西営業所）

・芝生管理委託料 572,400円（請負業者：みやび造園）

・電気設備管理委託料 129,600円（請負業者：小國電気設備管理事業所）

・清掃委託料（第2 体育館） 46,872円（請負業者：ハクロ福㈱）

□効果・達成度

多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成に貢献することができました。

□課題・改善

ゲートボール場が調整池となっているためにゲリラ豪雨や台風時には土砂が流れ込み、維持に負担が

かかります。今後のゲートボール場の活用方法及び改修について考える余地があります。ソフトボール場は表層部の真土が雨による流出や飛散により、傷みが目立つため、土の入れ替え、整備の必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,188,000	3,988,291			981,400	3,006,891

事業名／町民第3グラウンド管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総 ◆ 取 組 内 容	多目的グラウンドの設置(H26年度完了)	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総 ◆ 取 組 内 容	浄化センターの修景施設を含めての公園化	

◆事業内容(目的・必要性)

町民第3グラウンド(さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場)を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・器具修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設器具修繕工事を行い、安全でより快適に活動できる場を提供しました。

- ・南面入口設置工事 217,620円 (請負業者: 楠田設備工業㈱)
- ・遊具点検料 45,360円 (請負業者: (有)福岡堂運動具店)
- ・AED部品交換 40,824円 (請負業者: (有)松岡医療器)

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 142,560円 (請負業者: セコム㈱加西営業所)
- ・電気設備管理委託料 67,200円 (請負業者: 小国電気設備管理事務所)
- ・清掃委託料 280,800円 (請負業者: (公社)中播広域シルバー人材センター)

□効果・達成度

さるびあドーム・スケートボード場・遊具広場は、幅広い世代が活動できる複合施設として、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティに貢献できました。

□課題・改善

さるびあドームは南面に門扉がなく、東側駐車場からの出入りが遠回りしないとできない状態でしたが、利用者からの要望により、南面に門扉を設置し利便性を良くしました。ドーム内グラウンドについては、定期的な散水に加え、スポーツトラクターでの整備に努めています。今後も引き続き効率的な整備方法を研究します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,539,000	2,405,006			1,366,500	1,038,506

1 次評価:B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	4.学校施設社会開放費	800,000 ^円	748,554 ^円	51,446 ^円

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業名／学校施設社会開放事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>		町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取組内容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総 ◆ 取組内容	施設開放支援	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民のスポーツ振興を図るため、町内の小・中学校の運動施設（体育館・グラウンド）の積極的な開放を実施しました。

◆事業の成果

■学校施設社会開放 学校別集計表

		福崎小	高岡小	田原小	八千種小	西 中	東 中	計
体 育 館	使用回数(回)	461	309	461	274	236	332	2,073
	使用人数(人)	9,200	5,372	19,026	8,041	5,076	6,249	52,964
	使用料(円)	59,260	49,870	84,770	185,700	101,760	121,900	603,260
グ ラ ン ド	使用回数(回)	161	112	54	223	5	8	563
	使用人数(人)	5,170	2,190	7,412	8,505	1,120	8,440	32,837
	使用料(円)	4,240	0	9,540	271,510	6,360	8,480	300,130

■施設修繕料

- ・福崎小学校体育館出入口ネット取替及びバレーボールネットロープ等交換
97,891円（購入業者：(有)福崎堂運動具店）

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習の活動の場と機会を提供しました。

スポーツクラブ4団体や子ども会のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

授業等に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
800,000	748,554			748,554	

1 次評価:B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	5.体育館運営費	6,614,000 ^円	6,176,443 ^円	437,557 ^円

生涯スポーツの拠点として各年代層にあったスポーツを選択できるよう、年間を通じて様々な教室・大会を開催しました。また、キャンプ等を通して青少年の健全育成に努めました。

施設において、より安全で効率的なスポーツ活動の場を提供するために、設備の充実・整備を行いました。

事業名／町民体育館管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>		町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総	◆ 取組内容	スポーツ施設の充実及び整備 町民体育館の耐震補強(H28年度完了)
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
総	◆ 取組内容	各種教室及びスポーツ大会の充実
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総	◆ 取組内容	職員のスキルアップ

◆事業内容(目的・必要性)

第1体育館を安全かつ快適に利用していただくため、施設修繕を行いました。また、地域住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティ・スポーツ振興を図るため、施設設備の充実と、スポーツ大会・教室等のプログラム向上に努めました。

◆事業の成果

■施設器具修繕を行い、より快適に施設利用ができる環境を整えました。

- ・鉄扉調整工事 197,000円（請負業者：㈱モリ）
- ・トレーニング機器修理代(ラットロウ) 64,800円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・年末清掃委託料 225,601円（請負業者：ハクロ福㈱）
- ・自動ドア保守点検委託料 45,360円（請負業者：寺岡オート・ドアシステム㈱）
- ・消防点検業務委託料 23,760円（請負業者：㈱消防装備）

*町民体育館利用人数

(単位：人)

年度	球技室	体育室	卓球室	トレーニング室	第2体育館	計
28年度	6,831	3,532	3,645	5,154	10,316	29,478
29年度	13,333	6,580	6,832	8,520	6,873	42,138
30年度	15,380	5,443	6,247	10,068	7,300	44,438

■各種大会を開催し、町民の健康づくり・コミュニケーションづくりに貢献しました。

大会名	期日	場所	対象	参加
マスターズソフトボール大会	4/15	第1グラウンド	35歳以上の男女。チーム年齢合計が360歳以上で構成	7チーム
町民親善グラウンドゴルフ大会	5/12	第3グラウンド	誰でも可	48チーム
山菜ハイキング	5/26	鉢伏高原	誰でも可	42人
カヌー教室	6/24・8/11	野外活動センター	町内小学4～一般	5人・12人
ふれあいワンデー生活塾	7/14	野外活動センター	町内小学1～3年生	48人
アウトドア生活塾	7/28	野外活動センター	町内小学4～6年生	20人
自治会親善ソフトボール大会	8/17～21	第1グラウンド他	自治会でチームを編成	31チーム
地域職域ソフトボール大会	11/18	第1グラウンド他	町内在住在勤者	8チーム
子ども遊びフェスティバル！	1/26	第1体育館	町内幼児園児以上及び保護者	約200人

■スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

講習会名	期日	場所	対象	参加者
スケボーチャレンジ	11/18・24 3/9・23	スケートボード場	町内小学生・保護者	19人 14人

■健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

教室名	対象	曜日	時間	1期	2期	3期
貯筋教室	65歳以上	水曜日	9:30～11:00	24人	21人	21人
夜のフィットネス教室	誰でも可	木曜日	18:00～19:30	20人	18人	18人
からだのびのび教室	誰でも可	火・金曜日	9:30～10:15	55人		
健康ソフトバレークラブⅠ	誰でも可	火曜日	10:15～11:45	36人		
健康ソフトバレークラブⅡ	誰でも可	金曜日	10:15～11:45	30人		
にこにこスポーツ教室	誰でも可	木曜日	13:30～15:00	13人		
いきいき教室	誰でも可	火曜日	13:30～15:00	16人		
ポールウォーキング教室	誰でも可	木曜日	10:00～11:30	34人		

□効果・達成度

・行事や教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができ、また誰もが気軽に参加できる健康志向の教室を新たに増やし、多くの方の健康維持増進に努めました。

・スポーツ推進委員・高齢者・大学生が連携し、子ども達と活動する多世代交流事業は年々参加者が増え成果を上げています。

□課題・改善

・行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。

・参加数が減少している行事を検証し、運営の改善及び新たな行事の展開等検討していく必要があります。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,233,000	5,896,043			2,521,770	3,374,273

事業名／地域スポーツ奨励事業**◆事業内容(目的・必要性)**

地域の健康づくり、コミュニケーションづくりを目的に、各種スポーツイベントの運営に係る経費の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及びスポーツクラブにおける県主催大会の出場に要する経費の補助を行いました。

◆事業の成果

■スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。

・福崎小学校へ 48,000円 ・田原小学校へ 48,000円 ・高岡小学校へ 28,800円
 ・八千種小学校へ 48,000円 ・福崎東中学校へ 28,800円 ・福崎西中学校へ 28,800円

■スポーツクラブ連合補助金を交付しました。

・スポーツクラブ連合補助金 50,000円

□効果・達成度

スポーツクラブを支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。

□課題・改善

スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
381,000	280,400				280,400

IV 学識経験者の意見

(1) 就学前の子育て支援事業

- ①子ども子育て会議を開催され、アンケート調査を取りまとめられた事、処理、改善、改修を評価します。保育無償化に伴いさらに計画を改善してほしいです。
- ②保護者にとって、町外の保育所を利用でき、充実した仕事で喜ばれていると思います。
- ③諸事情の保護者のニーズに応じ、延長、一時預かり等少子化問題に役立っていると思います。
- ④地域の中で子育ての交流が深められていると好ましいです。
- ⑤開設時間を延長され、利用者も増加した事が改善につながっていると評価します。
- ⑥子育て支援事業は、女性の社会進出を支援することでもあり、女性の活躍できる機会を増やし、女性の活力が地域に反映され、地域活性化にも大きく関わることであり、欠かすことのできない制度と考えます。少子化傾向の抑制にも繋がる重要な取組ですので、より一層の充実をお願いします。またそれを支える保育士等の処遇改善も重要なことと考えます。
- ⑦子どもの安全・安心が確保されることで、子育てに対する安心感が若い保護者層の流出を防ぎ、流入を促進することにもなり、地域の少子高齢化を抑制する大切な事業と考えます。ネットワーク社会において若い親世代のネットワークは我々の想像を超えるものがあり、地域の活力を増やす大切な取組と思います。子育て孤立化の解消を狙った相談や情報提供といった取組も大切なことだと思いました。
- ⑧認定こども園の駐車場の整備やトイレの改修工事も快適で安全な園の管理・運営の主旨に沿って必要なことだと思います。
- ⑨たとえ一人でも利用があれば、園児送迎のマイクロバスが運行してもらえるという言葉に福崎町の住民サービスの姿勢とあたたかさを感じました。
- ⑩1年生を上級生と一緒に下校させる放課後子ども教室事業は、学校に慣れない1年生の下校時の安全を確保するというとても良い取組と思います。是非残りの2校でも実施してもらいたいと思います。
- ⑪学童保育の指導員が放課後児童支援員認定資格研修に参加され、資質向上に努められたことは、非常に大切な取組であり、大きな成果であると考えます。
- ⑫幼児期からスマホとゲームが生活の楽しみになるようなことは避けたいです。子ども同士のコミュニケーションであったり、子供達が主体的に楽しめる遊び方だったり、伝統的な遊びであったり、今の時代に不足しがちなことを提供できる場であって欲しいと願います。
- ⑬保育、子育て支援に関するアンケート調査の内容や保護者からの要望等、結果を基に社会動向等を踏まえた上で現状に添った計画を進めてください。
- ⑭低年齢児からの入園が増加しているので、保育教諭の確保が課題です。保育士の処遇改善等働きやすい環境作りをして、人材確保に努めてください。保護者の多様な

ニーズに対応し、子育て支援につなげていることは大変評価します

- ⑮各子育て支援センターが子育て親子が気軽に地域の中で、多世代と交流を持ち、学びや情報交換の場になっていることは評価します。参加人数が増えてきていることによる課題にも、各施設と連携をとって対応し、支援に努めてください。
- ⑯学童保育の利用人数の増加、閉園時間の1時間延長等による保育内容の問題点や実施場所の確保以外の課題はないのでしょうか。指導員の負担軽減や内容の充実等検討して今後も留守家庭の小学生の健全育成及び安全確保に努めてください。

(2) 教育委員会関係事業

- ①教育委員の活動・活躍が表面的に見えないように思います。
- ②不登校、支援学級の生徒の取り組みは、大変な事業だと思いますが、一層強化してほしいです。
- ③学校への不登校指導員の配置や町教委による支援を要する子どもの実態把握・支援学級への入級判定等は現場の大きな援助になっていると思います。何でも学校の教師任せにするのではない姿勢が学校にとっては、ありがたい支援になっていると思います。
- ④何でもかんでも学校任せにし、苦情と批判だけはするという風潮の中で教師達のオーバーワークが深刻な問題になりつつあるのではないかと感じます。SSWやSC、場合によってはスクールロイヤーといったシステムの整備の検討をお願いします。社会の権利意識の強まりとともに学校の教師だけでは対応できない事案が急激に増えていると考えます。
- ⑤学校施設の長寿命化に当たっては、より安全により快適にという視点を強化することで、長寿命化そのものがより効果的になると考えます。目先にとらわれず、5年先、10年先の使用状況を見通して、10年先まで我慢できるではなく、10年先でも不便・不満を感じないという視点で取り組んでもらいたいと思います。
- ⑥引続き不登校児童生徒の問題解決のため、学校、不登校指導員、関係機関と連携をとってきめ細かい対応に努めてください。近年の猛暑にいち早く対応し、小中学校の普通教室に空調設備が設置される予定で、子ども達が快適に過ごせていることは、喜ばしいことです。学校でALTの方と子ども達が楽しそうに過ごしているのをよく見かけます。幼稚園児まで交流があり、英語に対する興味関心が高まっていると思います。
- ⑦長寿命化計画については次年度の平成31年度(令和元年度)より計画的に事業費を当てて事業実施(今年度は福崎小学校北校舎の長寿命化改修実施設計業務)され、空調工事については、今年度町内の小中学校の普通教室78教室に空調施設の設置をすでに行っておられることを理解しました。大規模改修計画につきましては、想定を超えた災害への安全や健康への配慮はもとより、Society5.0に向けた学校

Ver.3.0 を見据えて、長期展望で、人材育成、教育環境を考える必要があると思います。多様な経験と学習方法の機会を与えられるよう、先進的な教育施設の改善例を学び、取り組んでいくことを願います。

(3) 学校関係事業

- ①遠野市と児童交流の後、子どもたちに変化がありプラスになっているなら継続の方向でされるのが良いと思います。
- ②障害に応じた教育活動の充実がなされています。
- ③施設整備の充実に一層強化してほしいです。
- ④就学援助が適切に行われています。
- ⑤今後も災害級の暑さが続くと予想される中、エアコンの整備が進んでいることは大変望ましいと思います。寒さに弱い児童・生徒もいることと思いますので、夏だけではなく、冬の暖房もエアコンで実現して欲しいと思います。
- ⑥芋植え（芋掘り）、田植え（稲刈り）、もち麦まき（刈取り）といった体験ができていることが大変素晴らしいことだと思いました。その他の野菜に関する栽培や収穫の体験も増やして欲しいと思います。
- ⑦就きたい仕事の第1位が **YouTuber** といった状況の中で、小中学生にも将来の職業についての体験を、県の施設等を利用してさせてやりたいと思います。
- ⑧特別支援学級の入級者が10年で5倍以上になり、主たる原因が自閉と情緒障害ということを知り、びっくりすると同時にそれだけきめ細やかな入級判定がされている結果なので、評価されるべきことと思います。今回、実際に特別支援学級の様子を見学させてもらって、運営の大変さと教師・学習支援員・介助員の連携による手厚い指導に驚きました。
- ⑨学校施設の老朽化等により修繕箇所が多く、補修が追いついていないですが、計画的に事業を進め、安心して学校生活が送れるよう努めてください。
- ⑩学校の体育館は災害時の避難場所としての役割もあります。最近の頻繁に起こる災害に対し、スペースの確保だけでなく、毛布、簡易トイレ等常設してはどうかと思います。
- ⑪特別支援学級や支援を必要とする児童、生徒が増加しています。先生方も大変ご苦労されていますが、児童、生徒の個性、特性を見出して今後ともご指導をお願いします。新年度に学習支援員や介助員の確保が難しい時があると聞きます。登録制にしておられると思いますが、処遇や勤務体制等検討してスムーズに人員確保できるようにしてください。
- ⑫事業名／小学校管理事業・小学校枠外事業
「◆事業内容（目的・必要性）…学校教育法に定める目的及び目標達成のための教育を推進しました。

◆事業の成果 目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。」

(以上平成 30 年度決算報告書から引用)

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました、とのことで理解いたしました。引き続き子どもたちの成長と幸せのため、整備と活動の充実をお願いいたします。

個別の表等を見るようにということですが、もう少し具体的な総括の表記は必要ではないかと思いました。

⑬ 4 小学校の修繕、業務委託、工事、大規模改修の目標、課題はよくわかりました。

⑭ 特別支援教育の充実につきましては、田原小学校の見学時、障がいに応じた丁寧な教育活動がおこなわれており、先生方のご努力、備品等の充実を感じ、頭が下がります。また、交流学級でのあたたかな人間関係からも、入り込み等での支援の成果が感じられ、スクールヘルパー等の効果もあるものと思います。

インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインは、支援の必要な子どものみならず、周りの子どもたちの成長にも必ずよい影響を与えていると思います。

福崎では手厚い特別支援の環境があると伺いましたが、それは子どもたち全員があたたかく、落ち着いた環境で学ぶことにつながっていると思います。

⑮ 就学援助費の個々の区分で全て人数が異なるのは、学年も異なり請求が異なるということなのかと思いますが、他の理由もあるのか若干疑問を感じました。すべての子どもたちが公平公正により良い教育を受けられるよう、引き続き適切な事業運営をお願いします。

(4) 給食センター事業

① 地産地消率がアップした事は評価します。

② 幼・小・中の給食事業が行われていることは、食育の面や子供の健康維持の面、そして、家庭負担の軽減といった面からも大変良いことであると考えます。また地産地消で「もち麦」の積極的な利用も良いことだと思います。子ども達に福崎町の特産「もち麦」をもっと意識させたいと考えます。

③ 調理員の民間委託も今日では当然のことと思います。衛生管理に支障が出ない体制をお願いします。

④ 他市町の給食と比較しながら、栄養面だけではなく、デザート等でも給食の楽しさを増やして欲しいと思います。子ども達の学校に行きたいという思いを強くするような楽しく美味しい給食を提供してください。

⑤ 調理、配送業務を民間委託することにより、メリットがあり、質の維持向上が図られ、安全安心な給食の提供ができていることを評価します。また、地産地消率が 47.5%もあることは、生産者にも子ども達の健康にも良いことです。施設見学や学

校での給食作りの実態をPRする等、子ども達に食の大切さを教育する良い機会を提供していると思います。

(5) 社会教育事業

- ①吉識雅夫科学賞を継続しておられるが、もっと広くPRして、町民に知らせる事で未来の科学者が誕生するのではないかと思います。
- ②人権フェスティバルの開催で意識を高められていると思います。
- ③成人式については、現在の中学3年生が高校3年生になる時が18歳成人の初年度になると思います。そうなれば、その時の成人式は18歳・19歳・20歳が同時に成人することになると考えられますので、その対応を準備する必要があると思います。また、20歳で徹すなら、名称の変更が必要になると考えます。
- ④18歳成人を目前にした社会の意識改革を図る研修をしていかなければならないと思います。18歳成人は社会に様々な影響を及ぼすと思いますが、選挙に関することぐらいしか周知されていないように思います。
- ⑤スクールヘルパー、地域ヘルパーといったボランティア活動は頭が下がります。毎朝、踏切や交差点で子ども達の登下校の安全を確保していただいていることに感謝申し上げます。そして、いつ大きな災害に襲われるとも限らないご時世ですので、町民のボランティア精神を高める取組は大切なことだと考えます。
- ⑥いじめ防止対策推進法を受けて兵庫県のいじめ対応マニュアルも改訂されました。いじめの定義がしっかりと理解されていない状況にあると感じます。学校だけでは無く、人権教育の一環として、大人にもいじめの定義の理解を徹底させることが大切と考えます。いじめを正しく理解できている大人が少ない現状で、子ども達がいじめを防止できるはずもないと思います。インターネットによる人権侵害の学習等を行われていることは良いことだと思います。
- ⑦学校支援活動、教育支援活動が、地域のボランティアの協力のもと実施されているが、ボランティアの高齢化、固定化等で人材確保が課題です。幼稚園、小学校の祖父母参観日等を利用して、周知、働きかけをしてはどうでしょうか。
- ⑧自治会単位研修会の参加人数が減少しています。様々な年代層に参加してもらうため内容や時間帯等工夫して住民の人権意識の高揚を図ってください。インターネット上による危険行為、人権侵害等を防止する啓発活動を繰り返し実施してください。

(6) 芸術・文化事業

- ①地域住民の文化高揚、研鑽の場として、有意義に提供されている。一方で新規利用者へのPRを頑張ってもらいたいです。
- ②文化センターの利用をよくさせてもらっているが、老朽化のせいか全体的に暗いイメージがあります。

- ③秋まつりには、エルデホールを中心に隣接施設もにぎわいを見せている。その他にもイベント計画をされてはどうでしょうか。
- ④八千種地域の住民中心にイベントも行われていて、利用者も充実していると思います。
- ⑤エルデホールは駅からのアクセスも良く、利用しやすいと考えます。このたび音響設備が更新されたということで、今後も利用させていただきたいと思います。平均入場者数がここ5年間に關しても常に微増傾向にあるのは、使い勝手の良さがあると思います。
- ⑥少子高齢化が加速化する中で、文化センター等を使った異世代交流の機会となるようなイベントを企画されたら良いのではないかと考えます。子ども、少年少女、若者、壮年世代、高齢者といった異世代の交流がどんどん少なくなっているように感じます。何か良い企画は無いものでしょうか？建物の老朽化も進んでいることで、負担も大きいとは思いますが、重要な施設であると考えます。
- ⑦セミナー事業は魅力的な講座が多いので、開催曜日等検討してもらえば幅広い年齢層の受講者が増えるのではないのでしょうか。
文化センターは老人大学や公民館クラブ活動等生涯学習、住民活動の拠点としての役割も担っているが新規利用者が少なく、幅広い年齢層が楽しめる事業を提供して欲しいです。
- ⑧各施設の老朽化に伴い補修箇所が増えています。緊急を要する所から修繕、更新して住民が安心して利用できる施設管理に力を入れてください。
- ⑨比較的安定した集客ができました。今後も幅広い世代に楽しんでもらえるような企画を提供してください
- ⑩公民館事業の公平性については、1次評価で長年にわたる利用者が大半で新規利用が少なく、年齢層に偏りが指摘されている。難しいとは思いますが、老人大学、公民館クラブが高齢者の居場所と、さらに広い視野で利用されるよう、若者のアイディアも学校教育の中でも募り、少しずつでもさまざまな年齢層が交流できるようなアクティブな場となることを願います。

(7) 図書館事業

- ①図書館は町内外からの利用者が増加し充実していますが、イベントににぎわいを感じるよう努力してほしいです。
- ②町民の読書の機会を増やす素晴らしい施設だと思います。中高生の利用促進のためにも自習コーナーの整備は有効なものだと思います。ネット社会と言われる今日において、読書の楽しさを少しでも多くの住民に経験させられるように頑張ってください。一方でデジタル書籍の体験コーナーも整備されたら良いのではないかと思います。また、セキュリティの面からは防犯カメラの設置をお願いします。

- ③図書館向けデジタル化資料送信サービスの利用を開始したことは、利用者のニーズに対応した取り組みと評価します。町外利用者が増えていることは、学習の場として安全で快適な空間が提供出来ているということで喜ばしいです。

(8) 文化財事業

- ①松岡兄弟は有名であり、辻川はもちむぎのやかた、カップ妖怪でにぎわっています。そのおひざもとの子どもたちにもっと活動してもらえる場はないものか？と考えます。
- ②文化財に対する住民の意識がもっと高くなるよう、出前講座を大々的に利用を促してはどうでしょうか？
- ③柳田國男の生家・松岡家記念館・三木家住宅整備は福崎町の宝として媚びることなく運営してもらいたいです。しかし、そのためにも若者を引き付け、その価値を理解させる一層の工夫が必要と考えます。妖怪関連のイベントも効果はあると思います。でも、柳田國男を妖怪博士にはしないで欲しいとも思います。
- ④民俗学は柳田國男の遺産に頼るだけでは無く、新しい切り口での「民俗学」の可能性を若者（大学・高校）との連携で探して欲しいと思います。
- ⑤山桃忌式典で福崎高校のギターマンドリン部に演奏の機会を与えていただいたのは、高校生達にとっても良い経験をさせていただいたと感謝しています。
- ⑥年々辻川界限の施設や環境が整備され活性化も出来ています。幅広い年代層に郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供できている事は評価します。
- 老朽化した施設はこまめな点検等をし、文化財を守ってください。引き続き辻川界限の情報発信と地域の歴史資源の保存、活用に努めてください。

(9) 社会体育事業

- ①自然環境、施設管理も充実しているが、冬季利用を増加させる手立てはないのでしょうか？
- ②健康保持増進を図る上でスポーツは必要不可欠です。健康セミナーを開催されるとの事、すばらしいと思います。
- ③第1グラウンドの改修、照明安定器等よく整備されている。第3グラウンド（さるびあドーム）の利用が多い事は住民貢献が出来ています。
- ④各スポーツクラブや子ども会活動に貢献出来て、地域コミュニティにも役立っています。
- ⑤高齢者の利用参加が多いのは素晴らしい。若い世代が利用したいメニューの希望を聞いて作ってはどうか？
- ⑥中学生や高校生の部活動を支援する場として、そして、トレーニング機器の整備だけでなく、トレーナーやコーチによる専門的な指導も考慮してもらいたいです。

例えば、ノ一部活デーとリンクさせた利用を図ることで、生徒の部活漬けの解消にも効果をあげられるし、異なる指導者の指導を受けることの効果も大きいと思われます。

⑦野外活動センター

美しい自然の中に立地した施設で、利用料金も安く魅力を感じました。冬季の利用者を増やすには、やはりお風呂が必要と思います。アクセスについても10人以上の利用については、福崎駅からのコミュニティバスでの送迎の斡旋等があれば良いと思います。是非利用してみたい施設です。今回見学させていただいて、高校生の利用を勧めていきたいと考えました。

⑧利用者が減少している。積極的に広報活動を行う必要があると思います。冬季の利用者が少ないのであれば期間閉鎖も検討してはどうでしょうか？

⑨スポーツ推進員の能力を生かして今後も地域における健康増進のため、さらなる普及活動をお願いしたいです。

⑩グラウンドの改修、施設修繕等によりスポーツ活動を行う環境が整備され利用者が増加しています。今後も利用者が安全で快適に利用できるよう努めてください。

⑪スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。指導者の確保、種目等町体育館と連携をとって地域スポーツの活性化に努めてください。

⑫見学させていただき、冬期の利用はなかなか難しい部分がありますが、春夏秋と、自然の多い野外施設有効利用されているのは良いことだと思います。手すりの修理もされ、安全になった分、さらに一般の方にも周知が広まり、冬期も含めて、さまざまな活用がされることを願います。

令和2年2月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（敬称略）

神戸医療福祉大学准教授	野 本 玲 子
兵庫県立福崎高等学校長	岡 野 敦
住民代表	岡 本 真紀子
住民代表	松 岡 隆 子

V 參考資料

平成30年度 福崎町教育の努力目標

平成30年(2018年)4月 福崎町教育委員会

<基本方針>

「大地に根を張り、幹を太らせ、枝を広げ、葉を茂らせ、大きく伸びゆく福崎の教育」

～町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして～

<平成30年度重点目標>

1 就学前保育・教育の充実に努める。

- 1)「福崎町子ども・子育て支援事業計画」に基づき子ども・子育て支援事業の取組を進めるとともに、次期計画策定に向けたアンケート調査を実施する。
- 2)町内の公立認定こども園4園及び私立認定こども園2園において、多様化する保育ニーズに対応するとともに、3歳児からの就学前教育を充実させ、5歳児に取り入れた外国語活動を引き続き実施する。また、田原幼児園において低年齢児受入のための施設改修、福崎幼児園では園行事の際の駐車場不足に対応する駐車場の増設を行い、環境の改善を図る。
- 3)子育て支援センター・西部子育て学習センター・東部子育て学習センターの3ヶ所の子育て支援施設が連携し、子育てに関する情報提供、相談業務を行い、子育て支援機能の充実に努める。
- 4)集団遊びの創意工夫ができ、豊かな感性や思いやりの心を育てる快適な環境づくりに努める。
- 5)集団生活や話を集中して聞けるなどの社会性や基本的な生活学習習慣を育てる。
- 6)興味・関心、意欲・態度、判断力・表現力など、後伸びする力をつける。
- 7)発達障害の早期発見・早期療育に努め、母子保健事業の各種健診や相談事業との連携を強化するとともに、発達障害児が適切な支援を継続的に受けられるよう、療育支援体制の整備・充実に努める。
- 8)認定こども園の5歳児と小学校との交流を進め、小1プロブレムの解消に努める。

2 学校教育の充実に努める。

- 1)豊かな人間性や基本的な生活習慣の向上に努める。
 - ①「自他の生命」を尊重し、共生社会を皆で生きていく力を養う。
 - ②生活習慣(起床時間、夕食時間、就寝時間)の確立を進める。
- 2)確かな学力＝「生きる力」と捉え、「知育」「德育」「体育」「食育」を推進する。
 - ①学習習慣と意欲・集中力を学校・家庭で共に協力して育て、学力向上に努める。
 - ア)学力向上プランを実践し、基礎学力の定着と向上に努める。
 - イ)小中の交流学习を推進し、緊密な連携により、校種間の円滑な接続を図る。
 - ウ)「福咲学力アップタイム」を継続し、反復学習による基礎・応用力をさらに高める。
 - エ)学力向上委員会での学力向上に向けたとりまとめを各小中学校で実践する。
 - オ)朝読書や家読及び毎月29日の「フクちゃん読書の日」、3月9日の「サキちゃん読書の日」を推進し、読書習慣を向上させる。
 - ②地域の歴史や文化財について学習する機会を増やし、郷土についての興味・関心を高め、「ふるさと 福崎」を愛する心を育てる。
 - ③町立図書館、青少年野外活動センター、大庄屋三木家住宅、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館など、社会教育施設との連携を図り、生涯を通じて自ら学ぼうとする意欲や関心を高める学習活動に努める。

3) 人間的なふれあいに基づく生徒指導に努める。

- ① 校長のリーダーシップのもと、全教職員の共通理解を図り、協働実践で指導に当たる。
- ② 福崎町「健全な子どもの育成5つの方針」を周知徹底する。
- ③ 「いじめ防止マニュアル」の実践と体罰厳禁で教職員と児童生徒の人間的なふれあいに基づく生徒指導に努め、児童生徒間では、「互いに支え合う仲間づくり・学級づくり」など好ましい人間関係を築き、社会のルールやマナーを身につけるなどの社会性を育てる。
- ④ 教育相談体制の充実を図り、学校等における諸問題の早期発見・早期対応に努める。
 - ア) 教職員のカウンセリングマインド研修や不登校指導員、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーなどの効果的な活用により、児童生徒の悩み等を受け止める相談体制の充実に努める。
 - イ) いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こる、という認識のもとで、定期的なアンケート調査や教育相談により、早期発見し、児童・生徒の力を活用しつつ早期対応・解消に努める。
 - ウ) 不登校・不登校傾向に対しては、保護者や関係機関との連携を密にしながら、社会的自立に向けた早期対応に努める。
 - エ) 問題行動に対しては、その背景にも目を向けながら即対応し、継続的に指導を続ける。また、「ダメなことはダメ」というゼロ・トレランス式指導も堅持する。
- ⑤ 認定こども園と小学校、小学校と中学校の連携を深め、小1プロブレム・中1ギャップの解消に努める。

4) 感動・感激、実感・体感などの体験活動の充実に努める。

- ① 地域の祭事、家事手伝い、ボランティア活動などへの参加を勧め、充実感・達成感及び所属感を味わう体験活動を進める。
- ② 夢に向かう姿勢を育てる。

5) いのちの教育の充実に努める。

思春期支援教室、介護体験、乳幼児保育、小動物飼育、里山散策、花栽培などで、人間と自然を愛し、命あるものを慈しむ心を持ち、命のかけがえのなさを実感できる人づくりを進める。

6) 人権教育の充実に努める。

- ① 同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人及びLGBTなど人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。
- ② 不要な携帯電話・ゲーム機の使用・ブログや掲示板への誹謗中傷する書込みなど、情報モラルに関する指導に努め、人を傷つけたり犯罪に巻き込まれたりしないように周知する。
- ③ 人権フェスティバルを継続開催し、日常生活に人権尊重が定着する人権文化の確立に努める。
- ④ 平成27年度に策定した「福崎町男女共同参画基本計画」に基づく取組により、男性と女性が互いの生き方と相手の人権を尊重し、責任をわかちあいつつ、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に努める。
- ⑤ 学習支援員等を配置し、支援を要する児童生徒の学習面の支援に努める。

7) 特別支援教育の充実に努める。

- ① 一人一人の教育的ニーズに応じた個別的教育支援計画により一貫した教育が行える指導体制の整備に努める。
- ② *インクルーシブ教育システムを推進するとともに、通常の学級に在籍する発達障害のある、または、その傾向のある児童生徒についても同様の指導体制を整える。
- ③ 介助員等を配置し、支援を要する児童生徒の生活面の支援に努める。

* 障害のある者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的のもと、障害のある者となない者が共に学ぶ仕組み。

8) 食育を推進する。

- ① 「第2次福崎町食育推進計画」に基づき取組を進める。
- ② 生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の確保、食文化の継承等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を育てる学習を進める。
- ③ 「早寝、早起き、朝ごはん」を奨め、朝ごはんの欠食をなくす取組を継続する。
- ④ 「地産地消」、「不時不食」(旬の食材)、「もちむぎ」などの地元特産物食材利用に努める。
- ⑤ 給食費滞納の解消に努める。
- ⑥ 学校だよりや食育通信、PTA会報等で食育の啓発を図る。
- ⑦ 給食調理・配送の業務を民間委託し、民間業者の知識・技術を活用した給食の質の維持・向上に努めるとともに、学校栄養教諭による児童・生徒・園児への食指導の充実を図るなど安全・安心な学校給食の安定的な提供を図る。

9) 学童保育園の充実、活動環境の改善及び指導員の資質向上を図る。

10) 建設後 30 年を超えた学校施設の整備に向け、平成 29 年度に実施した学校施設長寿命化計画の調査業務を基に、計画を策定する。

11) 小学校低学年及び中学校高学年の普通教室について、長寿命化改良のうち空調設備設置の前倒しに向けた実施設計を行う。

12) 学校業務改善事業を推進する。

- ① 教職員が時間的・精神的ゆとりを持って児童生徒と向き合うことで、教育活動のさらなる充実を図ることができるよう、兵庫県「教職員の勤務時間適正化推進プラン」(平成29年4月策定)に基づき、「教職員の定時退勤日」については週1回以上、「ノー部活デー」については平日週1回、土・日曜日2回以上の完全実施を、教職員の共通理解のもと、町教委・学校をあげて取り組む。
- ② グループウェアを利用して、職員朝礼のペーパーレス化、簡素化を進める。
- ③ 平成 29 年度に導入した校務支援ソフトを活用し、指導要録その他の電子化等、業務の効率化を図る。

3 家庭の教育力を高める。

1) 家庭教育学級の開設(認定こども園・小・中学校)

- ① 研修会等により保護者の子育て支援を行う。
- ② 子育てについての親の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応した、学習会や講演会の開催を実施する。
- ③ 奉仕活動やスポーツ大会を開催し、連帯感の育成や子育て情報の共有に努める。

2) ゲームなどのバーチャルリアリティ体験を減らし、ノーゲームデー、ノーテレビデーの取組を進め、家事手伝いの習慣化を図る。

3) 家庭でも食事や団らんの大切さを、可能な範囲で啓発する。

4) 自学自習の習慣の確立を保護者の協力を求めて進める。

4 地域の教育力を高める。

1) 「人は環境をつくり、環境は人をつくる」と言われる中、すべての地域住民が子どもたちの健全育成にかかわる取組を進める。

- ① 研修会、講演会等により、地域住民の青少年健全育成意識を高める。
- ② 啓発リーフレットの作成や広報車等を活用した啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりに努める。
- ③ 子ども会活動を各地域で推進する。

- 2) 各種団体に協力を求め、健全育成地域づくりに努める。
 - ① 青少年補導委員会や PTCA の活動を支援する。
 - ② 地域教育推進委員会(県民交流広場)の活動を支援するとともに、委員会相互の連携を図る。
- 3) 自治会研修会の活性化を図る。
- 4) 学校支援地域本部事業の充実を図る。
 - ① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を学校教育に生かす取組を進める。
 - ② 学校支援者が、児童生徒と喜びを分かち合い、自らの生きがいにつながる活動を創造する。
 - ③ 土曜教育支援体制構築事業を利用し、英語を中心とした小学校土曜日教室を校区毎に開講する。

5. いつでも、どこでも、だれでも学びたいことが学べる生涯学習(社会教育)の充実に努める。

- 1) 2人の名誉町民(柳田國男・吉識雅夫)を顕彰し、郷土への愛着と誇りを持つ子どもを育てる。
 - ① 地域の歴史や文化をテーマに優れた研究を行った児童生徒に対し、「柳田國男ふるさと賞」を贈る。子どもたちが、氏の功績や郷土の歴史を再認識する取組を進める。
 - ② 柳田國男ゆかりの岩手県遠野市との友好都市交流事業として、福崎町の児童が遠野市を訪問し、児童交流とともに遠野物語の原風景に触れたり東北大震災の後方支援等を勉強する。
 - ③ 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学分野で優れた究、観察、製作を行った児童生徒に対し、福崎町「吉識雅夫科学賞」を贈るとともに、広く町民に氏の顕彰を図るため、遺族から寄贈された遺品の活用に努める。
- 2) 芸術・文化活動の推進に努める。
 - ① 図書館では、住民の自主的な学習拠点として、蔵書の充実に努めるとともに、快適、安全な利用しやすい図書館を目指す。
 - ② 「福崎町子どもの読書活動推進計画」に基づき子どもの読書習慣が身につくよう、毎月 29 日を『フクちゃん読書の日』、3月9日を『サキちゃん読書の日』として、学校と連携し各種事業を展開する。
 - ③ 町内小中学生へ配布している「読書ノート」に読書記録を残すことで、読書への関心を高め、楽しんで読書をする環境作りに努める。また、町内の利用者を増やすために大人や中・高生向け行事を実施し図書館来館のきっかけ作りをする。
 - ④ 図書館応援隊を支援し、特色ある図書館活動を推進する。
 - ⑤ 自習スペースの効果的な活用を図る。
 - ⑥ エルデホールの自主事業は、地域住民の要望に沿ったもの、若者層をターゲットにしたものなど、それぞれのテーマに分け実施する。友の会制度の啓発に努め、より多くの方に自主事業に足を運んでいただくよう情報発信をおこなう。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業の実施や住民が参加できるような企画づくりに努める。
- 3) 地域の歴史文化遺産の掘り起こしに努める。
 - ① 歴史民俗資料館は、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保存・展示に工夫を加え、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。また、吉識雅夫生誕110年記念企画展や、連続講座を継続的に開催する。
 - ② 記念館では、松岡静夫生誕140年を記念した企画展を開催し、松岡五兄弟の顕彰をいっそう進める。

- ③ 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史遺産掘り起こしについて取り組む。
- 4) 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館等で形成される文化ゾーンを軸とした文化財の保護・活用の推進に努める。
 - ① 5回目を迎える「柳田國男検定」は、初級・中級・上級試験を実施する。検定を通じて、柳田國男の功績を知り、理解を深める。
 - ② 第39回山桃忌は、「柳田國男と遠野物語」をテーマにシンポジウム・遠野の民俗芸能をエルデホールにて実施する。
 - ③ 地方創生推進交付金を活用し、大庄屋三木家住宅では資料整理・展示公開を実施する。柳田國男・松岡家記念館では、松岡五兄弟啓発グッズ制作、パンフレットの多言語化を実施する。
 - ④ 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅が住民に愛され親しみのある施設となるよう各種事業に取り組む。
 - ⑤ 辻川山周辺は、町民の憩いの場として住民が気軽に利用できるよう、整備、広報に努める。
 - ⑥ 地域の先祖の営みを紹介するため、遺跡から読み取れる、当時の生活の紹介や発掘された出土品を展示するなど住民に埋蔵文化財への関心を高める。
- 5) 社会体育、野外活動などのスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに努める。
 - ① 第1グラウンドの改修に向け、地域スポーツ施設整備助成の申請をする。
 - ② スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体の育成・発展に努める。
 - ③ 総合型地域スポーツクラブのサポートに努める。
 - ④ 各種健康スポーツ教室・大会等の充実に努め、町民の体力向上を図る。
 - ⑤ 自然景観が優れた野外活動センターを住民に周知、利用を促す広報に努める。
- 6) 参加しやすく魅力ある公民館活動の運営に努める。
 - ① 学習や活動を通じて人と人との交流を深めるとともに、学習成果の発表で生き甲斐を高める。
 - ② 町民の要望に応える多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容の充実に努める。
 - ③ 若年世代の参加を図るよう努める。

6 開かれた教育委員会の推進に努める。

- 1) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い平成27年度に設置した総合教育会議等で、町長部局との連携を強めよりよい教育行政の推進を図る。
- 2) 所管施設の現状と利用者の要望を認識するために、定期的に所属長との面談や現場視察をする。
- 3) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく「事務事業点検評価」を引き続き実施、公表し、住民から広く意見を求めるように努める。
- 4) 新教育委員会制度に関する研修・研鑽をさらに深め「不易」「流行」を見極める。

福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

(目的)

第1条 福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

(役割)

第2条 評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

(定数)

第3条 評価委員の数は、3名程度とする。

(任期)

第4条 評価委員の任期は、1年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

2 評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

3 評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

(委嘱)

第5条 教育委員会は、委嘱状を交付する。

(教育委員会事務事業評価委員会)

第6条 教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

2 委員会は、教育長が招集する。

3 委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月10日から施行する。